大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
八月二十八日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三〇五 營業局專用(3)三三一〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

平沼內閣總辭職
後繼は阿部信行大將か

【東京國通】平沼內閣は廿八日の緊急臨時閣議で總辭職に決定した後繼內閣は阿部信行大將に降下するものと見られてゐる（寫眞は阿部大將）

【東京國通】後繼內閣組閣の大命が阿部大將に降下すれば同大將は直ちに組閣の準備に着手するものとみられ順調に進めば組閣工作は遲くも廿九日中には完了の運びとなろう

【東京國通】廿八日午前九時四十五分全閣僚の辭表を取纏めて參內、闕下に骸骨を乞ひ奉つた平沼首相は、何分の沙汰あるまで事務を見よとの有難き御沙汰に恐懼し、午前十時卅分宮中を退下した

內閣書記官長發表

【東京國通】廿八日午前九時四十五分內閣書記官長發表＝本日閣議において內閣總辭職を決定しました、首相は各閣僚の辭表を取まとめこれを捧呈の爲只今宮中に參內致しました

內府直ちに西園寺公訪問

【東京國通】天皇陛下には廿八日平沼首相御前退下後、直ちに湯淺內府大臣を御前に召され、後繼內閣首班について御下問あらせられた、湯淺內府大臣は謹みて元老西園寺公の意見を聽取するまで暫くの御猶豫を乞ひ奉つて退下した、而して內府は園公訪問前、午前十一時十五分華族會館に於て近衛樞相と會見樞相の意向を聽取したのち、午後零時十五分東京驛發同三時御殿場着便船塚の別莊に滯在中の西園寺公を訪問、老公の意見を聽取した上夕刻歸京、直ちに宮中に參內して後繼內閣首班として阿部信行大將を最適任とするむね謹みて奉答することになる模樣である

內閣總辭職の決行經緯

【東京國通】平沼首相は國際新情勢に對處するためには新らしき內閣によつて政治の心機一轉を期すべきであるとの信念のもとに總辭職を決意し二十三日來近衛樞相、湯淺內府をはじめ各閣僚とも充分に意見の交換を遂げた結果愈々廿八日緊急臨時閣議を開き總辭職を決行した、則ち平沼首相は當日午前八時十分首相官邸に入り、前日會見洩れの廣瀬厚相、前田鐵相、小磯拓相八田商相と個別的に會見辭意を決した事情を述べて諒解を求めた後閣議は午前九時より開會、首相より改めて總辭職を決意するに至つた理由を述べて全閣僚の同意を求めた結果、各閣僚異議なく贊同し、首相は直ちに全閣僚の辭表を取纏め首相官邸を出で、宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ總辭職の事情を委曲奏上、闕下に骸骨を請ひ奉り辭表を捧呈した畏くも天皇陛下には何分の沙汰あるまで事務をみよとの有難き御沙汰を賜り首相は恐懼して御前を退下した、かくて今春一月四日大命を拜し支那事變ならびに變轉複雜な國際政局に直面せる重大時局を擔當して今日に至り在任八ヶ月にして平沼內閣はこゝに總辭職した

後繼內閣の重要使命

【東京國通】國際情勢の新展開に對應し國政の更始一新を期するため平沼內閣は遂に總辭職を決行、後繼內閣は今明日中に成立をみることゝなつたが、事變處理に關する根本國策は既に近衛內閣當時畏くも聖斷を仰いで磐石不動の方針を確立し、後繼首班が何人に決つても微動だもしないのは勿論、後繼內閣はこの根本國策を堅持し聖戰の目的達成を第一義とし既定方針に則り客觀情勢の推移に即應し、外に對しては自主獨自の皇道外交を確立、內に對しては國家總力戰體制の擴充强化を期して邁進することゝならう、即ち後繼內閣に課せられた重要使命は左の如くである

一、事變處理　聖斷を仰ぎ決定せる根本國策を繼承し、東亞新秩序の建設に邁進する、從つて支那新中央政權樹立の機運に對しては東亞全局の平和安定に鑑みこれを支持し速かにその具現を期する

一、對歐米施策　平沼內閣の對歐施策も白紙に還元せるを以て新內閣は獨自の立場に立ち東亞新秩序の建設を根幹として事變下わが國際關係の再建を期し獨、伊、英、米、ソ等の各國に對しそれぞれ力强き自主的外交を展開する

一、軍備充實　事變處理をめぐる長期戰に對應し聖戰目的を達するため愈々陸海軍々備の充實を期するは勿論この國家的實力を自主的外交の背景として活用する

一、國內革新の斷行　物心兩面の國內總動員體制を强化し生產力の擴充、物資總動員、低物價對策、輸出貿易の振興、金融部門の整備、經濟行政機構の刷新貿易省の設置等最も急を要する國內改革を斷行し長期

內閣總辭職理由（首相聲明）

【東京國通】平沼首相は廿八日午前十時五十分總辭職の理由に關し左の聲明を發表した

首相聲明

不肖、曩に大命を拜し叨に重任に當りて以來日夜聖旨を奉體して閣僚と協力し一意專心時艱を克服して東亞の新秩序を建設し、以て聖戰の目的達成に邁進して來たのであります而して外交は建國の皇謨に則り道義を基礎として世界の平和と文化とに寄與するを第一義とし、この方針のもとに對歐策を考慮し屢次これを闕下に奏聞し來つたのであります しかるに今回締結せられたる獨ソ不可侵條約により歐洲の天地は複雜怪奇なる新情勢を生じたので我方はこれに鑑み從來準備し來つた政策はこれを行切り、更に別途の對策樹立を必要とするに至りましたこれは明らかに不肖が屢次奏聞してゐるところを變更し再び聖慮を煩はし奉る事となりましたので、輔弼の重責を顧み洵に恐懼に堪へません臣子の分としてこの上現職に留りますことは、聖恩に馴るるの虞れがあります尚國內の體制を整へ、外交の機軸を更めこの非常時局を突破せんとするに當つては、局面を轉換し人心を一新するを以て刻下の急務と信ずるものであります、以上の理由により本日闕下に伏し謹みて骸骨を乞ひ奉つた次第であります

日滿關係は不動
內閣總辭職と滿洲國の觀側

平沼內閣の總辭職決行に對し當地各方面では最近の內外諸情勢より推してさして意外としてゐないが、外には獨ソ不可侵協定をめぐる歐洲情勢の緊迫、內には事變處理を中心とする國內總動員體制の强化經濟力の充實等が焦眉の急に迫つてゐる折柄、一刻も早く强力なる後繼內閣の出現を待望し、心機一轉、外に對しては獨自の皇道外交の確立を圖ると共に、內に對しては物心總動員による長期戰體制の確立を希つてゐる、對滿政策に對しては日滿一德一心による大方針は後繼內閣の首班が誰にならうとも萬古ゆるぎなきものとされてゐるので、何等根本的には變更を見る筈もないが個々の問題については日滿物動計畫の策定、開拓部門の分野確定等更に既定の大方針遂行に拍車する諸政策の改善を期待するのみである

各省政務官 參議も辭表

【東京國通】內閣參議及び各省政務官は辭表を平沼內閣總辭職に伴ひ提出した

後任閣僚下馬評

陸海軍大臣

【東京國通】平沼內閣は廿八日緊急臨時閣議で總辭職に決定した、後繼內閣組織の大命は阿部信行大將に降下するものとみられる、平沼首相辭職の理由は國際新情勢に對處するため政治の心機一轉を期すると云ふにあり、從つて留任閣僚はなく、陸相には參謀長磯谷廉介中將、海相には聯合艦隊司令長官吉田善吾中將が有力視されてゐる

大藏大臣

【東京廿八日發國通】藏相後任は現日銀副總裁津島壽一氏が有力視されてゐる

內閣書記官長

【東京國通】阿部大將に大命降下の場合、書記官長には元內務省警保局長唐澤俊樹氏が有力視されてゐる

戰下の時局に備へる 全閣僚留任せず

【東京國通】平沼首相は廿八日辭表を捧呈後談話を發表して骸骨を乞ひ奉つた理由を明かにしたが右談話中に明かな如く政府が對歐策として決定し、既に臨時奏聞に達せる政策を、歐洲情勢の急變によつて變更せざるを得ない情勢に立ち至り再び聖慮を煩はし奉ることゝなつたゝめ、平沼首相は恐懼臣節を全うする決意を固めたもので、全閣僚もこれに贊同、その責任は內閣全體においてとつたものであり從つて現閣僚は責任上後繼內閣には一人も留任しない事に確定してゐる

獨國會議員召集
重大決意を促す
ヒ總統時局の急迫を指摘

【ベルリン廿七日發國通】ヒトラー總統は廿七日午後四時突如總統官邸大使の間にドイツ國會議員一同を召集し時局の急迫を指摘し國民の決意を促す重大演說を試みた、なほヒトラー總統は廿七日午後再度アットリコ・イタリー大使を招致して何事か重要協議を遂げた

英、對獨回答案審議

【ロンドン廿七日發國通】英國政府は廿七日午後緊急閣議を開きヘンダーソン駐獨大使の齎したヒトラー總統の對英通告を審議し同大使に携行せしむべき英國の回答案を討議した結果更に廿八日正午より今一回會議を開くことに決定した、ヘンダーソン大使はその上決定の回答を携へベルリンに歸任する豫定である

獨波鐵道連絡中止

【ワルソー廿七日發國通】ドイツ鐵道當局は廿七日午後六時獨波鐵道連絡を中止した、この結果パリ、ベルリン、ワルソー、モスクワ間の國際鐵道連絡は遂に斷絶するに至つた

獨和連絡も中止

【ウトレヒト（オランダ）廿七日發國通】ドイツ國有鐵道當局は廿八日以降ドイツ、オランダ間の貨客國際列車運轉を中止することに決定した

ドイツの對佛回答內容

【ベルリン廿七日發國通】ドイツ政府は廿八日早朝ヒトラー總統のダラディエ佛首相に對する回答內容を發表ドイツのポーランドに對する要求は

一、ダンチッヒの返還
一、ポーランド廻廊割讓
一、獨波現國境の再調整

の三點にあることを闡明した

勅選議員發令

【東京國通】勅選議員缺員の補充は廿八日の緊急臨時閣議で決定上奏御裁可を仰ぎ左の如く發令された

正四位勳二等 男 青木一男
從三位勳二等 村上恭一
正五位 大田耕造
正四位勳二等 中川望
從四位勳三等 澤田牛麿
正四位 兒玉謙次

貴族院令第一條第四號により貴族院議員に任ず

宋子文 突如重慶に歸來

【上海二十八日發國通】永らく香港に滯在中であつた宋子文は廿七日久方振りで突如重慶に歸つたとユーピー重慶電は報じてゐる、宋子文の動きに關しては、かねがね各方面で孔祥熙に代つて財政部長に就任せしめようとするとか、特使として英國に派遣するとか噂とりどりであつたが、宋は常に香港を動かなかつたもので今回の突如たる重慶歸還が何を意味するかは不明だが、停頓中の英支金融香港會談、政府系銀行の昆明移轉命令など未解決の問題も多々あり、かたがた國際情勢の大變動とその影響等に關し重慶方面と協議するためではないかと想像される

人事往來

着京
▲稅所比志氏（會社員）二十七日來京ヤマトホテル ▲長澤奎吾氏（同）同 ▲宇田尚氏（同）同 ▲荒木篤氏（マンチユリヤ、デーリーニユース社員）蓬萊ホテル ▲中村興氏（官吏）同 ▲正木善正氏（眼鏡商）同 ▲萩原香一氏（官吏）同 ▲佐藤重男氏（同）同 ▲村上長樋氏（會社員）滿蒙ホテル ▲寺島毅氏（銀行員）同 ▲拓植貞次郎氏（會社員）同 ▲梅津重雄氏（洋紙類販賣業）同 ▲武居五郎氏（會社員）同 ▲渡邊孝正氏（同）同 ▲小村善作氏（官吏）同 ▲多田順三郎氏（建築請負業）同 ▲森本博氏（鐵工業）大都ホテル ▲森本作三郎氏（同）同 ▲崎中忠義氏（會社員）同 ▲岩間壽三氏（林木商）同 ▲稻村倖一氏（同）同 ▲今村知光氏（同）同 ▲原善一郎氏（コロンビアレコード社員）同 ▲高木榮三氏（會社員）同 ▲本橋保氏（公吏）同 ▲伊藤精一氏（會社員）同 ▲川元淳夫氏（同）同 ▲新田庄太郎氏（同）同 ▲藤山一二氏（貿易商）同 ▲大川忠吾氏（商業）同 ▲阿部芳文氏（畫家）同 ▲上重正一氏（會社員）同 ▲小山新氏（小野田セメント社員）同 ▲國吉喜一氏（同）同 ▲大西正文氏（滿洲綿業聯合會）國都ホテル ▲北林惣吉氏（哈爾濱セメント常務）同 ▲須原武二氏（會社員）同 ▲澀田盛次氏（同）同 ▲本名卓郎氏（本溪湖煤鐵公司）同 ▲四十塚喜太郎氏（官吏）同 ▲旗手稔氏（會社員）富士屋旅館 ▲土谷俊氏（同）同 ▲藤原壯夫氏（下駄商）同 ▲今村佐太郎氏（請負業）三國ホテル ▲西村勝郎氏（會社員）同 ▲米倉三樹氏（同）同 ▲猪口理保氏（貿易商）同 ▲武田靜雄氏（滿蒙毛織社員）同 ▲小牟田鐵次氏（會社員）同 ▲菅谷健兒氏（大阪電氣社員）同 ▲由木理一氏（會社員）同 ▲中西石太郎氏（同）同

出發
▲小川貞雄氏 間島へ ▲佐熊國男氏 扶餘へ ▲渡邊正富氏 哈市へ ▲佐藤由松氏 海拉爾へ ▲小林憲一郎氏 哈市へ ▲間宮吉太郎氏 同 ▲松原孝平氏 牡丹江へ ▲吉田五朗氏 奉天へ ▲小沼英一氏 大連へ ▲內海朝次郎氏 奉天へ ▲三田泰雄氏 同 ▲吾妻文吾氏 同 ▲小山貞知氏 哈市へ ▲西山實氏 張家口へ ▲波多久氏 通化へ ▲井本傳次氏 奉天へ ▲大竹多積氏 大連へ ▲忠賀太一郎氏 哈市へ ▲星原實氏 鞍山へ ▲根橋禎二氏 大連へ ▲伊藤甚男氏 東京へ ▲神中正一氏 哈市へ ▲柳谷虎吉氏 東京へ ▲田中伊三郎氏 同 ▲野本政雄氏 奉天へ ▲丸茂豐氏 同 ▲丹羽利男氏 同 ▲山口外二氏 同 ▲吉田政治郎氏 同 ▲金井文治氏 同 ▲上原隆道氏 齊市へ ▲西原政男氏 哈市へ ▲杉野榮造氏 同 ▲杉島善生氏 同 ▲上山辰二氏 同 ▲龜掛健次郎氏 同 ▲吉原豐吉氏 清津へ ▲古山一郎氏 京城へ ▲高橋正雄氏 大連へ ▲武石邦比古氏 牡丹江へ ▲奥田晴一氏 哈市へ ▲江木末八氏 京都へ

その日く

疲れたら變るべし、信無くば去るべし、不得已の中には必然さがある

□

たゞわが國策の根本は不動大陸に於ける建設に一日の弛みあるべからず

□

揺れつゝある歐洲を尻目に新しき東亞にひたすらに前進せよ

□

佛蘭西の如き、今になつて國內共產派を彈壓したりして無定見を暴露してゐる

□

切符制で食糧は買へても平和を買ふ切符は無いらしいのである

皇帝陛下 生徒の建國體操御覽

〔間島省政を御視察〕

廿八日午前間島省政一般にわたり御視察遊ばされた皇帝陛下には午後一時卅分より謁見室において日本側各部隊長に對し單獨謁見を賜はり、ついで日本側佐藤健吉中佐以下四十九氏に列立謁見を賜はつたが、それより同二時御召自動車に御乘車御泊所御發同十一分飛行場御着場内に整列した協和義勇奉公隊、協和青年國學校生徒、國防婦人會、勤勞奉仕隊、農民訓練所、協和會青年訓練所等四千名の奉迎裡に植木省次長の御先導にて御閲場に御成り全員の國歌合唱後學校生徒二千八百名の建國體操、女子生徒七百五十名の遊戲、マスゲームを御覽ついで全員の活潑な分列行進を御閲遊ばされたのち同三時十分御閲場御發同廿二分御泊所御着になり延吉第二夜を御迎へ遊ばされた

全滿綿糸布の配給網を合理化

卸賣商問題を解決

滿洲綿業界は原棉手當の問題を繞り、益々窮屈化を豫想せられ、殊に北支に於ける棉花が勞力不足或ひは旱害により頗る不成績を豫想され窮屈化に拍車をかけてゐるが、滿洲國內產を大體卅萬ピクルと押へても日本或ひは第三國より約六、七萬ピクルの輸入は必要とされ之に要する爲替の歸趨は問題となつて來るが、現在の三割强制混紡、五割四分二厘の操業短縮を實施するとしても今後の滿洲に於ける綿織物配給は一層緊迫化するものと豫想されるに至つた、之がため綿聯に於ては現在の配給不圓滑、闇取引等が一層活潑化するとの見込みから配給網の整備擴充をなすため現在の卸賣、小賣商各組合間の横の聯絡に補整を加へ配給に萬全を圖るべく考慮せる模樣である、即ち卸商に綿織物を賣捌く元賣捌商は全滿四十三ケ所の支店出張所を持つてゐるが之では充分ならず、又各省に卸商組小賣商組等があるが錦州は元賣捌卸賣、小賣何れも認め、奉天省は元賣捌と小賣を認め、卸賣商を認めないと云ふ狀態で、何れも個々の形式をとり各省によつて一定ならず配給圓滑、一定價格等の點から之を統合して一定基準の下に配給網の確立を圖るため根本的に元賣捌以下の配給網に一定の目標を確立する要ありとし、之が對策樹立をなす模樣であるが、その方法としては先づ卸賣商を認めず、元賣捌から直接小賣へ配給すると云ふ建前をとり、この結果元賣捌と小賣商との合理的結合を圖るため卸賣商の大半は元賣捌へ移行せしめ、或る一部を小賣商專門になす意向の如くであるが、綿業統制法以來その歸趨が問題となつてゐた卸賣商がいよいよ解決される譯である

日本學界の權威

東亞文化協議會に出席の途

けふ打連れて寄連

東亞文化再建の具體策を討論すべく三十一日北京に開かれる第三回東亞文化協議會に出席の途上にある阪大總長楠本長三郎、北大總長今裕、東京商大學長上田貞次郎、東大名譽教授岩佳良治、同宇野哲次郎、同原田淑人教授佐藤寛次、同原田淑人、京大名譽教授森島庫太、阪大醫學部長中村文平、同教授布施信良、東京高等齒科醫事學長島峰徹博士、私學代表明大總長鵜澤聰明、慶大教授慶松勝左衞門、早大教授杉森孝次郎、東洋大常磐大定各教授、帝國學士院會員片山正夫、帝室博物館長杉榮三郎博士など我國學界の權威十七名は廿八日早朝入港の熱河丸で寄連、一まづヤマトホテルに落着いたが天津洪水のため水陸兩路とも交通杜絶したので入京方法につき協議中

狂犬病注射を

必ず受けること

首都警察衞生科では狂犬病發生に備へて二十八、二十九、三十の三日間午前九時より午後三時までの間市公署新館前において狂犬病豫防注射を施行するが、當局では各飼主は殘らず期間內に注射させるやう望んでをる、若し今回の豫防注射を受けなかつた犬は飼犬と雖も野犬と見做し徹底的に退治するとの强硬意向を有してゐる、尙は本年八月末まで中央通署管內に發生した狂犬病は三頭でこれに咬傷されたもの五名、野犬に咬傷され傷を負つたもの五十名に上つてゐる

開拓廳長會議

日滿開拓政策大綱決定後最初の各省開拓廳長會議は二十八日午前九時から新京軍人會館に於て開催來年度開拓關係豫算其他を審議した【寫眞は會議場全景】

曠野の荒鷲

八木沼宣撫班長の力作

「何處まで續く泥濘ぞ」の討匪行の作者として有名な杉山部隊本部宣撫班長八木沼丈夫氏は八月上旬今次ノモンハン事件に活躍しつゝある陸の荒鷲〇〇基地を視察し多大の感銘に打たれ、公務多端の餘暇に精魂を打込み「曠野の荒鷲」と題し左の如く作詩し、近く作曲のうへレコードによつて公表されることになつた

一、つばさに染めた日の丸を仰ぐ親鷲、征く子鷲

空と地上に吐く意氣は一つだ、全機快調だきりりと結ぶ唇に笑みを漂ふわ勇士

二、合圖だ、捲れた隊長機名も荒鷲のまつしぐら襲ひかゝつて間を詰めてダダツと射てば火達磨の墜ちたぞ一機又一機空の海月か落下傘

三、雨と浴せた爆撃にひしめき逃げる敵兵を機上掃射の小氣味よさ風雨を衝いて幾百里敵陣深く偵察の通信筒は命綱

四、奮戰幾夜彈盡きて糧も絶えたる友軍に爆音高く近づけば見上ぐる者も見る者も

胸溢れくる感激にわが丈夫は極まりぬ

五、砂捲き飈ふ夕嵐吐く息白く土凍てゝバルガの月も凍るとき愛機を圍み夜もすがら炭火を焚きて暖めぬ或は肌に戰る手に

六、夕雲赤しノモンハン群る蚊蚋襲ふとき滴る血潮夜をこめてつくろひおへし間の後勝利のかげに咲ける花地上の勇士整備兵

七、照る日を浴びて荒鷲の翼を張りて征くところ空の護りは今安し親鷲、子鷲、若鷲の心一つに羽搏けば天上常に湧く凱歌

農事視察團

けさ新京出發

市公署行政科では管下農村の振興を圖る見地から各地區代表を選び農事視察旅行を計畫中であつたが、淨月區以下五區から各二名の代表計十二名に引率者二名を加へた一行十四名の視察團を組織、二十八日午前六時二十分發列車で出發したが、一行の日程は公主嶺、奉天、遼陽、蓋平、熊岳城等を約一週間に亘り視察するものである

協和服の男で僕は刑事だが

と、喫茶店を强請る

これは邦人ニセ刑事＝二十八日午前一時頃吉野町二丁目一六喫茶店銀座茶苑に協和服を着た一見二十七、八才位の邦人が來て「僕は刑事だが一寸調べたいことがある」と主人に會ひ、本籍、來歷等を聞き暗に金錢を强要するが如き言辭を弄するので一應態よく歸しこの旨日本橋通交番に屆け出たので直ちに係官は附近一帶を搜査したが、該人物を發見するに至らなかつた、なほ附近飲食店に於て調査せるにカフェー、おでんや、喫茶店等で刑事と稱し金錢を强要、無錢飲食をなしてゐるもの〻如くであるが、今後現れた時には至急最寄交番に通報されたいと

そつと妓女にあれは誰だい

あれは理髮屋の職人

二十七日午後八時三十分頃市內大和通派出所に一滿人男が驅け込み「今料理店にニセ警官が現れた」と訴へて來たので係官急行、三笠町四丁目二二滿人料理店華慶堂で被疑滿人を發見同所に連行取調べたところ、訴へ出た

男は 日本橋通り五九品川洋行店員鐵北三不管用市街一三號谷仙外（二八）で、自稱警察官は三笠町三丁目二二理髮屋滿盛軒方職人何金成（二四）と云ひ谷が華慶堂で遊興中、突然友人三名とゝもに「取調べることがあるから」と何が調べ出し谷が立ち遅れたのを何が見付け「何ぜ立たん」と云つたのに

憤慨 したがその場は默認、そつと妓女に「あれは誰か」と尋ねたところ顔見知りの妓女は「あの人は理髮屋の職人です」との返事にさてはニセ警官と訴へに及んだものと判明、何を本署に留置し目下嚴重取調べを行つてゐる

石炭節約時代

西安炭坑參觀記（上）

宇田生

【寫眞は西安炭鑛事務所前の記念撮影】

時・昭和十三年十二月 所・大同大街日滿商事受付 餘り上層の家庭の人と思へない一婦人が子供を背負つて受付子の前に立ち、この寒空に石炭がないためこの子供は風邪を引いて三十九度の發熱をした、もう一、兩日石炭がないとわれ〳〵親子のものは

凍死

するほかはない、それでも會社は何とも思はぬかとえらい權幕で石炭の不足を訴へる、この話は戲語でも冗談でもない、冬期味噌醬油と同じやうに一日も石炭がなくては暮せない滿洲ではまことに切實な叫びである、しかるに急速なる發展を遂げた滿洲國の重工業と日本の戰時重工業はわれ〳〵滿州の生活者に味噌醬油以上に必需品である石炭の使用にも重壓を加へねばならなくなつて來た、だが國家のためとあらばわれわれはその苦痛を忍ばねばなるまい、滿洲に於ける石炭の消費量は昭和七年に四百六十萬キロトン乃至五百萬キロトンであつたものが昭和十三年には

一躍

四倍の二千萬キロトンにはねあがつた、それでもまだ一般家庭には普遍されずに到る所いろ〳〵の石炭悲劇が繰り展げられてゐるのである、然るに本年は前年より二百萬キロトンを減じて一千八百萬キロトンで賄なはうといふのであるから相當の覺語をもつてかゝらねばならない、これを新京のみに就いて見ても日滿商事の炭繰りは大體七十萬キロトン、卅五萬から四十萬に膨れた人口に反比例して年額廿萬キロトンの減量は

如何

なる場面を釀し出すかは想像するまでもなく、石炭需要期にはまだ三ケ月も間があらうといふのに東西兩貯炭場は空のぽといふに於ては今冬の石炭飢饉は一通りの深刻さでないことが首肯ける、だが物はあるだけしかないのだ、結局それを有效に生かして用ふる方法以外に何物もないといふ結論に到達する、それには先づ石炭の完全燃燒による合法的節約を目標として生れた新京汽罐士協會が起つて一般市民にその範を示す以外にない、協會では石炭節約を理論的に體得させるため汽罐士の短期講習會開催、滿人にはトーキー映畫による宣傳等を計畫されてゐるがその前に簡炭の尖兵が

間近

に迫つた戰の前に親しく山元を觀て豫備智識をより養つて置かうといふのが西安炭鑛見學の目的であつた

一行は協會相談役の大陸科學院山崎喜一郎氏をはじめ幹事滿炭高瀨技師 日滿商事 堀宣傳主任 竹中滿鐵新京工事々務所設備係主任以下會員約五十名、早朝からとしや降りの雨を冒して協旗を先頭に午前八時三十分新京發の列車に乘り込む、相談役も幹事も寢具持參で會員と一諸に三等車に乘り込むところ今までに見るもろ〳〵の何々會員と違つた眞劍さに微笑しくなる、列車が發車すると早くも石炭問題が話題に上る燗幹事が滿鐵在社當時東北政權の壓迫をうけて

撫順炭が

暴落し草鞋ばきで滿洲各地の田舍を馳け廻つて酒屋染物屋と賣込みに血みどろの苦心を嘗めたこと、會社で採炭を制限するか出炭が多く主任級が進退伺を出したといふ嘘のやうな話、石炭の處理に窮した揚句米國のさる雜誌から豚コレラの豫防に石炭が最もよいといふヒントを得て星ケ浦で試驗をした結果滿洲に飼つてゐる約

三百萬頭

の豚に食はさうといふことをなど眞面目に考へたことなど石炭最悲境時代の挿話といふより笑へぬ秘話を發表して滿洲の石炭についての智識を深めてゆく

深刻な石炭飢饉をどう切拔けるか

先づ必要な豫備知識

ジャンバー盜難

二十七日午後三時頃吉野町渡邊運動具店々員北山義次君は兒玉公園陸上競技場南側芝生の上にジャンバー（現金二十一圓在中）を脱ぎ練習中何者かにジャンバーを竊取されたので中央通署へ屆け出た

ニッポン號

ノーム安着

【ノーム廿七日發國通】世界一週ニッポン號は北太平洋四千キロ横斷の壯擧を完成して廿七日午前十時五十八分（滿洲時間廿八日午前六時五十八分）アラスカの西端ノームに安着した、所要時間は十五時間五十五分である

牛肉値上げ

販賣業者陳情

四道街署管內牛肉販賣業者は最近に於ける屠殺牛の減少、勞銀の昂騰等を理由に現在市販牛肉百グラム十二錢のものを十四錢にその他等級に應じてそれぞれ一割五分乃至二割の値上方を四道街署に陳情、署では妥當なるものと認めたが本廳に稟申の結果、本廳衞生科では全滿各都市の販賣價格と對照する必要もあり、且つ政府の執りつゝある低物價政策にも反するので値上は暫く保留研究することになつた

少年即死す

バスと馬車接觸

二十七日午後五時半ごろ市內北大街元中銀前悪然來理髮店の前方路上で市內バス一一號線車體番號一一七九號―運轉手趙宗江（三八）が新京驛から毛織物一箱（重量百五十斤木箱）を積載して三道街の西尾洋行に運搬すべく同方向に左側を疾走中の市內新華街十三號馬車夫周榮田（三二）の馬車と接觸、バスは滿員であつたためドアの外にぶらさがつてゐた車掌朝鮮平安北道生れ金齊哈（一六）は接觸と同時に路上に顛倒し續いて頭部に落ちて來た木箱のため頭蓋骨を粉碎され即死した

自轉車持逃げ

二十七日午後吉野町一丁目二六雜貨商毛本啓次郎さん方店員栃木縣生れ長島清（二七）は自轉車で使ひに出たまゝ夜になるも歸店しないので毛本さんは中央通署に長島が自轉車を持ち逃げしたからと取押方へを願ひ出た

鳥獸魚類慰靈祭

曙町日蓮宗經王寺では三十日舊七月十六日午後三時から鳥獸魚類の慰靈祭を執行併せて陣歿軍馬、軍犬、軍用鳩の慰靈祭をも執行することになつた

平島理事赴連

滿鐵新京支社長平島理事は重役會議出席のため二十八日午後九時四十分列車で赴連

團體往來（廿八日）

▲厚生省關係產業視察團十名午前八時四十分發、午後九時二十五分歸著吉林往復
▲和歌山縣教育會日滿親善使節團四十名 午後零時三十八分哈爾濱より
▲東邊道開發實習生十五名午後零時三十分哈爾濱より
▲神奈川縣大陸視察團二十名午後三時十分哈爾濱より
▲大阪市役所大陸視察團七名午後五時二十分奉天より
▲蓋平國民高等學生八十六名午後十一時五分蓋平へ
▲岐阜縣派遣教育視察團二十三名 午後十一時三十分奉天へ

あす（二十九日）

▲義勇自動車隊會議午後二時より 於國防會館
▲開拓總局會議午前九時より於國防會館
▲日滿華陸上競技選手歡迎宴午後七時より 於ヤマトホテル
▲電氣協會主催講演と映畫の夕 於西廣場倶樂部
▲大同佛教會主催盆踊 於忠靈塔境內午後八時

今晚の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）▲八・〇〇講演（東京）▲七・四〇連續ラヂオ小說（東京）▲八・三〇浪花節（東京）御橋公外▲九・〇〇府縣めぐり（福岡）香推外三

有田サーカス 果然、人氣呼ぶ
初日から滿員の盛況

二十六日華々しく町廻りをやつた有田サーカスは八島小學校隣のテント劇場で初日の蓋をあけたが、土曜日と初秋のすがく＼しい氣候ではあり忽ち大入滿員の盛況を呈した、いろいろな動物の曲藝、空中曲技、籠球内のオートバイ乘り華麗なレビュー等間合ひなし四時間ぶつ通しの演技に大人も小供も大よろこびこゝ暫らくの間、晝は午前十一時から夜の部は午後六時からの二回開演、日曜祭日には特に一時間開始を繰り上げ三回で料金一等一圓四十錢、二等一圓三等六十錢、小人三十錢である【寫眞は曲技の一場面】

東發「松下村塾」
檢閲手數料免除さる

東寶、東發作品「松下村塾」は企劃の良心的なるものと兼々各方面より期待されて居たが此程滿洲封切の運びに到つたがこの「松下村塾」の滿洲檢閲に當り、其内容の教訓的であり製作の良心的である點係官を感動させ檢閲當局より率先手數料を免除される事となつた、これは滿洲新檢閲規則の適用第一回檢閲料免除映畫である譯である

「福地萬里」撮影を開始

滿映、朝鮮高麗映畫株式會社共同作品「福地萬里」のロケーシヨンに廿六日朝來京した監督全昌根氏外三十名の滿洲ロケは約一ケ月の豫定であるが「福地萬里」の出演者は大部分東洋劇場專屬劇團「高協」のメムバアであるのを幸ひに在滿中に奉天、新京、哈爾濱、牡丹江、圖們、延吉、龍井等で一ケ所二日間位の豫定で演劇を公開する筈である。「福地萬里」の撮影は二十七日から直ちに開始、スタツフの略歴は左の通り

△監督　全昌根　上海映畫界に於いて雄名を馳せた名監督で「福地萬里」は氏の歸鮮第一回作品

△カメラマン　李明雨　朝鮮映畫界第一線の名カメラマン、近くは「沈淸」の撮影者

△演技者　秦薫（本名姜弘植）朝鮮映畫、演劇レコード界の元老、朱仁奎「アリラン」時代からの名優なり　沈影　現在朝鮮劇界に於て最高演技者なり、朴昌煥　朝鮮劇界に於て人氣名優、李圭偘　朝鮮映畫界の老役として有名なり、柳玄　劇界に於て唯一なるスマートなる演技者、宋創冠　上海映畫界の名優

嘆きのダリユウ
ユ社との紛爭悪化

ユニヴアーサル社は本年度超特作としてローランド・V・リイ監督ダニエル・ダリユウ主演「リオ」製作を發表したが、其の後兩者間に紛爭が生じたゝめ同社ではダリユウを告訴すると共に「リオ」はユナイトの「マルコ・ポーロの冒險」で賣出したシグリット・ギユリイを迎へジヨン・ブラーム監督により製作する事になつたが

此の紛爭といふのはダリユウがユ社との契約を無視して歸米せずイギリスでジヨージ・ラヴイノウイツチの手で新作の撮影に着手せんとした爲めに生じたものでユ社側の言ひ分は二年前同社がダリユウと結んだ契約によりダリユウの英語によるトーキーは同社が獨占する事になつてゐるといふのだが

ダリユウ側はユ社との契約後と雖も歸佛してフランス又はイギリスでラヴイノウイツチが製作する四本の映畫に主演することが認められ、昨年來ユ社の命令で彼女がラヴイノウイツチの下に歸らなかつた爲めパリの大審院からラヴイノウイツチの下で四本の映畫を製作すべしと判決を受けてゐるので此の舊契約を無視してユ社で働く事は出來ないといふのである

雑音

長春座の日滿鮮映畫大會は初日好調な出足を見せたが以來豫想された危懼を全く一掃週日强調な客足で賑ひ、土曜日曜日を峠として充分な成功を收めた、あすからは再映プロ、九月第一週は「日本の妻」と「若日那武者修業」である▼虎造映畫を並べた朝日座も物凄い當りやう、これも豫想通りの十二分の成功、豐劇、新キネの好調を合はせて二番屋さん斷然優勢である▼これに比して氣勢揚らぬのが帝キネ、「われらが教官」「青年マリウス」では始めから多くは期待出來ないもの、それでも土、日曜日にやゝ好調を見せたのを取柄とすべきであらう▼期待すべきは卅一日からの「越後獅子祭」と「江見家の手帖」に添ふ江戸川蘭子、リキー宮川一行のアトラクシヨンにある、大衆番組として九月第一週を飾るに堂々たる呼び物とならう▼なほこれに次いで八、九兩日は廣澤虎造の來演、更らに新しいニユースとして「白蘭の歌」ロケに來演中の長谷川一夫、山根壽子その他一行の來演が中頃に内定してゐる

仙人掌

觀光協會の事務員から女給生活にダイビングした銀パレスの節子嬢、二、三日前から左頬にバンソウコウを貼りつけてゐる▼夫婦喧嘩にしては獨り者だから可笑しいし、同僚と引つ搔き合ふほどフラッパーでなし、醉つ拂つてストーブの煙突を戀人と間違へてしがみついたにしてはストーブのない季節のこと故、尚更可笑しいし「知らないワ」と本人が巧みに逃げるものだからあれやこれやと傷の詮議はやかましい▼ビジネスマンタイムをつくつてネオン街に一新紀元を劃したサロンキング、同タイム中は封筒便箋等通信用具まで備へつけて至れり盡せりであるが、夜の時間と違つて手持無沙汰の女給嬢、手紙書く周圍にズラりと居並んで「彼女へ手紙なら表書だけ代書してあげませうか？」▼これこそほんとにかゆいところに手の屆くサービスと言ふもの

十四といふ數字と映畫界と

「十四」といふ數字と、映畫界の歴史は密接微妙な關係があるさうだ、何故つて？

まづ最初は大正十四年だ、此の年は映畫檢閲が各府縣から内務省に統一され、檢閲制度の確立された年だ、

それから滿十四年經つた昭和十四年――つまり今年は映畫法といふ劃期的法律が制定された年である、映畫界の大變化は常に關係があるといふ譯だが

それなら今後の十四年目は？

そいつは神ならぬ身の知る由もない「十四」といふ數字が年の上に現れるまでは、映畫人は落付いてゐてもいゝだらうと

晝夜用心記(ちうやようじんき)

三村伸太郎・作　木下大雍・畫

(二一四)

最後の饗宴(二)

山下茂兵衛に會ひたいと言つてその宿屋に訪ねて來たのは、江戸から雪江と一緒にやつて來た舟次郎であつた。

雪江は兄の彌三郎や、宍戸小次郎と、その附近の百姓家に隱れてゐるのであつた。

舟次郎は、山下茂兵衛に、明朝宿外れの松原街道にまで出向いて來るやうにとの、柳瀨彌三郎の口上を傳へた。

山下茂兵衛は、にや〳〵しながら、その口上を聞いてゐたが、べつにはつきりとした返事はしなかつた。

『山下さん……お前さんとは薩埵峠以來、妙な因緣がございますが、明日は仲よく柳瀨さんに討たれておくんなせえ……』

『何を馬鹿なつ……人間といふ者はな、一度討たれるところの次に生れて來るか、どうか分らん……そんなことに義理もへちまの皮もあるものか……』

舟次郎は、その圖々しい茂兵衛の態度を呆れ返つたやうに見つめた。

『それぢやあ何んですか……お前さんは、逃げるつもりだね……惡黨にも似合はねェ卑怯な眞似をするんだ……』

『……』

茂兵衛は、その舟次郎には答へないで、傍のおそめに、少し酒を飲むで見たいがと言つて、酒の支度をさした。

『何……大丈夫だ。すこしぐらゐ飲んでも、身體に障りはあるまい……』

おそめが、影のやうにしよんぼりと、膳の支度をして來ると、茂兵衛は、かう言つて盃を靜かにふくんだ……。

『舟次郎……どうだ。一つやらんか……』

『酒を飲みに來たのではございません……』

『さう野暮なことをいふな……さあ受けてくれんか』

『……』

おそめは、茂兵衛の顏をちらと見たが、そのまゝ眼をふせて、茂兵衛の盃を受けた。

『山下さん……』

舟次郎が、堪まらなくなつて、苛々と、かう聲をかけると、茂兵衛は、舟次郎の顏を見て、輕く笑つた。

『な、舟次郎……』

『何も、さう借金の居催促のやうに、むづかしい顏をするものではない。お前は、先刻拙者の事を惡黨だと言つたが拙者はまた拙者ぐらゐ人の好い正直な者はないと思つてゐる……』

舟次郎が、何か言はうと、すると茂兵衛は、それにかぶせて

『が、然し、殘念ながら、拙者は惡黨だと言はれても仕方がないことを、一つだけしてゐる。……それは、蒲原の宿場で……柳瀨の家來の孫兵衛を斬つたことだ。……いや、あの場合、拙者が茂兵衛を斬つたのは、仕方がないとしても、あの時、咄嗟に、孫兵衛の所持する金を奪つた……』

山下茂兵衛の顏に、壁のやうな苦惱の色が、流れ出てゐる。

『これはまさに盜賊の所業である。柳瀨の父の彌左衛門を斬つたのは武士の意地、いや人間として屈辱を晴らしたまでだ。いくら柳瀨が、拙者を敵呼ばはりしようとそんな事は平氣だ。が、孫兵衛のことだけは、この茂兵衛、地獄に落ちても、あまり大きな顏は出來ン……』

舟次郎は、かういふ茂兵衛の心の底にあるものに、ついひどく打たれた風だつた。

商況　二六日 前場

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅十志五片〇〇
紐育金塊 三五弗〇〇〇〇
倫敦銀塊 二〇片二六分一〇
同 先物 一九片八分七
紐育銀塊 休會
孟買銀塊 五一留比二六分三
▲市俄古小麥

紐育棉花

九月限 六七仙八分三
十二月限 六七仙八分三
一月限 六七仙四分三
現物 九仙〇四
十月限 八仙五九
十二月限 八仙四三
一月限 八仙二九
三月限 八仙二三
五月限 八仙〇九
七月限 七仙九三

▲印棉
ブローチ 一六一留比〇〇
オームラ 一四九留比四分一〇
ベンゴール 一三四留比〇〇〇

カルカッタ麻袋
鐵筋 二六留比二分一
青筋 二九留比八分三

▲紐育株式
スチール株 四六弗四分三
アナコンダ株 二五弗〇〇

▲外國爲替
米英爲替 休會
米日爲替
米支爲替
米佛爲替
英米爲替 四弗三九仙〇〇
英日爲替 一志二片〇〇
英支爲替 四片八分一
英佛爲替 一七五法郎二五
印日爲替 七八留比二分一

▲滿洲中銀爲替
紐育向 二七弗二六分五
倫敦向 一志二片二分二

▲阪神爲替
對米賣 二七弗三二分九
對米買 二七弗一六分九
對英賣 一志二片〇
對英買 一志二片六四分一〇

各地株式市況

▲東京株式(短期)　寄付　大引
[illegible]

▲大阪株式(短期)
[illegible]

▲大連株式(短期)
[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿布
八月限・九月限・十月限・十一月限・十二月限・一月限・二月限 [illegible]

▲東京人絹　▲大阪綿花　▲大阪期米　▲大阪人絹　▲橫濱生糸
[illegible]

各地特産市況

▲新京　●大豆　●高粱
▲大連　●大豆
[illegible]

火曜　戊戌　先負　滿　室宿

●一白の人 午前は迷ひに入るも午後は晴々となるべし 乾と庚と東が吉
●二黒の人 世話事仲裁事は盛るべく他日に讓るが吉 丙と甲と壬が吉
●三碧の人 事物を整頓し亂れざるやうに進むべし 丁と庚と乾が吉
●四緑の人 妄りに進まず程を守り自然を樂しむべし 南と壬と甲が吉
●五黄の人 高座に安居すべき時にあらず自ら努むべし 乾と丙と庚が吉
●六白の人 閑散の狀態にあれど中に幸運の兆しを見る 坤と艮と西が吉
●七赤の人 口を愼しみ人の氣を損せぬ樣にすれば吉し 坤と艮と北が吉
●八白の人 事の大小に論なく投機の業は凡て愼むべし 丙と丁と乾が吉
●九紫の人 夢には成功を見れど實現することは難き日 東と巽と丁が吉

東京・本郷・神誠館

銀座キネマ　電③六四六五

豫告 九月一日より 女性開眼 山内一豊の妻

ニュース	2,00	2,34	5,6	7,39
お江戸奴侍	12,2?	2,56	5,?9	8,02
樂しき我が家	1,26	3,?9	6,32	9,05 10,07

廿五日より廿八日まで　階下七十錢

帝都キネマ　電(二)四〇五

豫告 三十一日封切 江戸川蘭子とリキー宮川 越後獅子祭 江見家の手帖

ニュース		12,46	3,54	7,04
自殺倶樂部		1,10	4,20	9,30
暗殺者の家	11,30	2,35	5,45	8,58 10,11

二十九日三十日二日間　階下五十錢

長春座　電③五七六六

豫告 菊水太平記 お加代の覺悟

ニュース		3,26	7,05
寃魂後仇	12,00	3,?9	7,18
國境	1,1?	4,58	8,3?
白人の價値	?,32	6,11	9,?6 10,40

料金八十五錢　廿三日より廿八日迄

新京チエーン映畫御案内

豐樂劇場

ニュース		1,10	4,15	7,30
女の友愛		1,30	4,35	7,5?
兄とその妹	11,30	2,35	5,5?	9,05 11,45

廿五日より廿八日迄　日曜は十時三十分より上映　開放五十錢

新京キネマ

ニュース		12,00	3,?0	7,06
兄とその妹		12,?3	4,0?	7,42
女の友愛		2,19	5,49	9,?8 10,34

廿五日より廿八日まで　料金五十錢

朝日座

熱血の道		1,50	4,45	7,40
ニュース	12,00	2,55	5,50	8,45
富士川の血煙	12,40	3,35	6,?0	9,?? 10,2?

廿五日より廿八日まで　四十錢

豫告 廿九日より 大船作品 風の女王 京都作品 花嫁月夜 朝日座
豫告(廿九日より) 松竹現代劇 父よあなたは强かつた 松竹時代劇 親戀道中 新京キネマ
豫告(廿九日より) 親戀道中 父と貴方は强かつた 豐樂劇場

新京見物場　性の百貨店　新京富士町 みくに湯橫

大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢　特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 (3)三三二〇 營業局專用 (3)三三二五
發行人 松本河榮忠 編輯人 十河勇 印刷人 水越内之介

後繼內閣首班決定

阿部信行大將

昨夜、組閣の大命降下

【東京國通】阿部大將に對し午後八時二十分宮中より御召あり、後繼內閣組織の大命は阿部信行大將に降下した▼【東京國通】組閣の大命を拜した阿部大將は御前を退下後別室において湯淺內府に會見大命を拜した趣を報告し挨拶を述べたのち意見を交換し午後十時宮中を退出西大久保の私邸に入つた▼【東京國通】阿部大將は西大久保の私邸で左の如く語つた

只今御召により宮中に參內、陛下より親しく組閣の大命を拜しました、暫く時日の御猶豫をお願ひして退下致しました【寫眞は阿部大將】

【東京國通】廿八日天皇陛下より後繼內閣首班につき御下問を拜した湯淺內府は同日午後三時御殿場便船塚の別莊に西園寺公を訪問、平沼內閣總辭職の顚末を報告し後繼內閣首班に關し御下問を拜した旨を述べ老公の意見を求め約一時間半に亘り意見を交換した結果、後繼內閣の首班には阿部信行大將を最適任とするに意見一致を見たので內府は四時四十五分同別莊を辭去し自動車を驅つて箱根經由午後六時十分小田原驛發列車で同七時半新橋驛着歸京し直ちに宮中參內、天皇陛下に拜謁仰せつけられ內大臣の責任において後繼內閣の首班には阿部信行大將を最も適任とする旨奉答した、畏き邊りでは同日午後八時廿分百武侍從長を通じ阿部大將に宮中お召しの電話あり、阿部大將は陸軍大將の軍裝に威儀を正し午後八時卅二分西大久保の自邸を出で宮中に參內、同五十分天皇陛下に拜謁仰せ付けられ、こゝに後繼內閣組織の大命は阿部大將に降下した、大命を拜した阿部大將は暫らくの御猶豫を請ひ奉り恐懼して御前を退下、次いで內大臣府において湯淺內府と會見、宮中を退出した

組閣本部＝霞山會館に

【東京國通】後繼內閣組織の大命を拜した阿部大將の組閣本部は虎の門霞山會館と決定した

內閣書記官長に遠藤柳作氏內定

【東京國通】阿部信行大將は二十八日午後二時十分丸の內俱樂部より霞山會館に入り大藏次官松村光三、外務次官清水留三郎の兩氏を招き要談、更に同二時四十五分元滿洲國總務廳長貴族院議員遠藤柳作氏と會見要談した、而して遠藤氏は內閣書記官長として有力視されてゐる

【東京國通】元滿洲國總務廳長遠藤柳作氏は後繼內閣の書記官長に內定した【寫眞は遠藤柳作氏】

平沼前首相訪問

【京京國通】阿部大將は樞相訪問後午後十一時四十分西大久保の私邸に平沼前首相を訪問、樞相に對すると同樣の挨拶を述べ辭去した

後任陸相には多田中將確定的

三長官協議で推擧

【東京國通】陸軍では陸相後任に關し陸軍三長官の間に協議の結果目下〇〇某要職に在る多田駿中將を推擧することゝなり、二十七日飯沼人事局長は空路〇〇に赴き交渉を行つたが多田中將の受諾は確定的と見られる【寫眞は多田中將】

財界は好感

【東京國通】財界では平沼內閣の總辭職は既に豫想されてゐた所であり極めて冷靜な態度を持してゐるが、阿部大將に對する大命降下については透徹なる頭腦の持主なる事で信頼し、同大將は擧國的體制を强化し、內外庶政の一新に邁進するものと期待し好感をもつて迎へてゐる、而して財界と直接關係ある財政々策は既に總動員法その他の發動により漸次戰時經濟體制の强化が行はれてゐるので新內閣もこの方面に沿ふて一層政策の强化に努力することは明かであり財界としても充分これに對處する覺悟と用意を持つてゐる、なほ新外交政策については自主獨往の强力外交を翹望、東亞新秩序建設に邁進せんことを期待してゐる

陸相交渉等想像に委る

飯沼人事局長談

後任陸相問題に關して廿七日來滿の飯沼人事局長は廿八日午後五時新京發〇〇に向つたが車中飯沼人事局長を訪へば

大命が阿部大將に降下したのか、隨分早かつたね、後任陸相の交渉に來たといふのか、まあ想像にお任かせする、磯谷君とは來京以來列車に乘るまで會つて種々と話をして來た、多田中將とは古い友人で折角新京に來たのだから會はずに行くといふのは不義理なので會ひに行くところだ、まあ明日の晩〇〇に泊つて悠つくり話し合ひ空路歸る豫定だ陸相問題交渉なんといふ固くるしい要務ではない

と輕く應對し

併し今僕の話をしたものゝ中から後任陸相が飛び出すかも判らんよ、僕が陸相を決めるのではないからね

と意味深長な言葉を殘して〇〇へ向つた

戰時政治機構强化

新內閣へ陸軍側要望

【東京國通】軍の後繼內閣に對する態度如何は各方面より重視されてゐるが、陸軍は新內閣に對し大要次の如く戰時政治機構の强化と內外施策の機敏なる實施を强く要望するものと見られる、即ち

一、急テンポをもつて進展する內外情勢に對應し帝國の國是たる日に新たなりの本旨具現を期し、內外の諸策は須らく適確、敏活でなくてはならぬ、徒に多數打ち寄り評定に暮れて機を逸し內外の指笑を招くべからず新內閣はこの點にかへりみ組閣上充分の考慮を拂はねばならぬ

二、帝國は現に支那事變處理の大業を遂行中であり、今後わが大陸建設に伴ひ諸外力の壓力重加を覺悟せねばならぬ秋である、これに對處するため國家總動員體制の强化とこれに對する政務の圓滑な運用が必要であるしかして總動員關係事務は關係するところ極めて廣範で、これが調整は尋常姑息の手段をもつてしては到底その目的を達成し得るものでなく、これがため總理大臣の權限を擴充し總動員指導權の確立强化を斷行することは肝要である

三、以上の如き戰時行政機構强化の下に要望される國內政策の主なものはイ、擧國一致國民精神の作興ロ、國防力の充實ハ、生產力の擴充ニ、貿易統制の强化並に自給對策の確立等であらう

破局解決遂に不調

獨佛の內交涉物分れ

【パリ廿七日發國通】ヒトラー總統は二十五日以來クーロンドル駐獨フランス大使を通じてダラディエ首相との間に歐洲破局解決に就きひそかに交渉を進めてゐたが兩者の意見一致せず結局ものわかれと成つた事が判明した、即ち獨逸はダンチッヒ及び廻廊問題に就き從來の方針を繰返し强調したのに對しフランスは對ポーランド援助義務を再確言し問題解決に就き何等進展なく難關は更に持越しの印象濃厚である、交渉の經過はヒトラー總統が二十五日クーロンドル大使との會見で對佛親善關係及びアルサス・ローレンス國境尊重に就き再確言する一方ポーランド國內の獨逸小數民族問題調整を要求した、クーロンドル大使は、これを本國政府に報告、ダラディエ首相は同大使を通じ獨波直接交渉による解決を要望しあわせてフランスの對ポーランド援助義務を强調した、ついでヒトラー總統は二十六日午後クーロンドル大使と會見、獨逸は獨波直接交渉を示唆するダラディエ首相の提案を拒否しフランス政府は二十七日コンミユニケをもつてこれを公表したものである

日伊親善は不變

【東京國通】アウリッチ駐日イタリー大使は二十八日午後二時外務省に有田外相を訪問チアノ外相の訓令に基きイタリー政府の對日態度は獨ソ不可侵條約締結により何等の影響を受くることなく今後共從來の親善關係を持續せんことを切望する旨を申出、更に歐洲情勢に關し情報を交換して同二時半辭去した

戰はぬ將軍出場

蔭の人阿部大將横顏

【東京國通】同志の國と結び道義世界の建設に進まうとした平沼內閣はこと志と違ひ成立八ヶ月にして蕭然として陣を退いた、かくて世界を吹きまくる嵐の中に阿部內閣が突如として生れ出ることになつた、阿部信行その人の名は陸軍の長老として著名であつたが總理大臣候補としては曾て下馬評にも上つたことのない人物である、從つて今回突然の登場は國民に意外の感を與へたであらうが、大將の溫厚篤實な人爲を知る人は紛糾變轉極まりない國際情勢に即應する前提として國內輿論のゆるぎなき統一を圖るためには唯一と云はれるもでも最適の首相の一人たるを疑はない、阿部大將は從來世間的な人物ではなかつた、彼が新聞記者に追つかけられたのは後にも先にも昭和五年六月、時の濱口內閣時代宇垣陸相の病缺が問題となつた際、陸軍次官の彼が無任所大臣として事實上陸相代理を務めたときだつた同期の荒木、本庄、眞崎各大將と比べるとあらゆる點で世人の徒らな注目を浴びることがなかつたゞけに軍人としても人間としても黨派色のない穩健な立場に終始したが、ある意味ではこの立場こそ今日の彼の出馬を可能とし、また必要とした所以であらう、事變第三年の內閣に課せられる任務は大きい、特に國際情勢の紛亂その極に達した今日東亞新秩序建設の指導者として日本の首班として阿部大將が自主外交に立つ新世界政策を確立するは啻に日本のみならず東洋全體の死活を決する重大使命である、平沼內閣は謂はゞその捨石である、阿部內閣がこの捨石の上に新たにして確固たる礎石を築くことは八千萬國民の齊しく翹望するところである、阿部大將は戰はぬ將軍として有名である、日露戰爭當時は內地に居殘りシベリヤ出兵には名古屋砲兵聯隊長として勇んで初の出陣をしたがチタまで至つた途端休戰になり以後は遂に好機に惠まれなかつた

□　□

參謀本部總務部長、軍務局長を經て宇垣陸相の下に次官となり、その後第四師團長、臺灣軍司令官、軍事參議官と輝かしい經歷をもつ蔭に武人としての不運を喞つ大將であつた、二・二六事件突發の際、軍長老としてとつた潔よい態度は知るほどの人をして感歎せしめたが爾來三年、しばしば朝鮮總督に擬せられながら默々として野に潜め僅かに東亞同文會の理事長として支那研究に意を注いでゐた、今回の登場によつて曾て軍政軍令の兩面に明敏を謳はれた頭腦と武人としての肚を如何に活かすか大將の八面玲瓏の溫容に寄せられる期待は大なるものがある、阿部大將は本年六十五歲、石川縣の出身で柔かい肌觸りを持ち私心のない純情な性格に敵をつくらない

皇帝陛下、延吉市街を御展望

皇帝陛下延吉御巡狩

義勇奉公隊等四千名を御閱

宮內府廿八日午後五時發表＝皇帝陛下には廿八日午前九時延吉御泊所において李間島省長以下に謁見を賜りたる後省長より政務奏上あり次いで陳列品御覽の上屋上展望所より市街を御展望あらせられ、同十時四十分御泊所御發、農科國民高等學校に御臨、學藝會並に學科教授狀況等を御覽あらせられ、同十一時廿三分御泊所御歸齋、午後一時卅分より日本側〇〇部隊長以下に謁見を賜り同二時再び御泊所御發同二時十二分飛行場御閱場御着、協和義勇奉公隊、協和青年團、學校生徒、國防婦人會、日本勤勞奉仕隊、農民訓練所、協和青年訓練所等の約四千名を御閱、同三時十二分御泊所に御歸還あらせられたり

李間島省長謹話

皇帝陛下の延吉地方御巡狩日程終了後李間島省長は廿八日午後五時左の如く謹話した

□　□

畏くも皇帝陛下におかせられては今般東部地方御巡狩を仰せ出され鑾輿を本省に御進め給ひ邊陬の民草をして御容を奉拜せしめられ給ひたる事は空前の御盛儀でありまして省民の光榮之に過ぎるものなく欣喜雀躍して奉迎申上げた次第であります、恭々しく惟ふに皇帝陛下には天資英明にあらせられ登極以來常に民福の增進に御心を寄せさせられ給ひ今回は特に東隅蒼生の實情を御自ら御巡狩あらせられ長途の御疲勞も御厭ひあらせられず、なほ設備萬端御不自由なるにも拘らず御容殊の外麗はしく各種の御行事を行はせられ殊に孝子節婦、德行者、高齢者等には恩賜品を下され給ひ沿道奉迎者に對しても一々御會釋を賜り、なほ御仁慈深きことには高齢者の奉迎場の前におかせられては特に御步行を止めさせられ、尙齒の聖意を御示し給ふなど眞に恐懼感激に堪へなかつたのであります、また恐れ多くも御容咫尺に侍りて本省の特殊性及び產業教育その他民族協和の實情等につき詳細奏上致しましたが陛下には御熟心に御聽取遊ばされなほ農科國民高等學校に御臨幸遊ばされては授業の實情を御覽遊ばされ特に滿日鮮兒童の互に手を取り踊るその天眞爛漫なる遊戲には最も御滿足の御模樣に拜せられたのであります、我等七十萬省民は赤誠を捧げて日滿一德一心の下に民族協和の實を擧げ本省の發展に努力し新東亞建設に邁進しこゝ今回の御巡狩に垂れさせ給ひたる御聖恩に御應へ申上げんことを期するものであります

十九機を擊墜

【〇〇基地廿八日發國通】廿七日は午前中雲行き惡しきため戰線上空には敵機を認めなかつたが、午後に至りからりと晴れ渡つた川叉上空に午後二時廿分頃イ一十六型四十機が襲來したので、わが陸鷲精鋭は一擧に不法敵機に喰ひ下り、またゝく間に十九機を確實に擊墜、三機不確實の戰果を收めた、わが方の損害は戰死一、未歸還一

偶語

今から約二年前ソヴエトの航空情況を觀て來た滿洲國のさる大官が〃今にして滿洲國は航空に醒めないときは恐るべき結果を招來するであらう〃と警告したことを覺えてゐる人は現在も相當にゐる筈だ▼其の時席上に連つた面々の大部分はまた例の調子かと嘲笑的に聞き流してゐたやうであるが▼その恐るべき結果が二年を出ずして四千萬國民の眼前に展開されたのである▼所謂ノモンハン事件即ちそれである▼僅か九十日の短時日に一千二百の敵機擊墜は偉大なる戰果であるが▼我れの損害八十七機は支那事變二ヶ年に失つた七十四機に比較するとき侮るべからざる敵の威力を想像出來るであらう▼個々の戰技、機能が如何に優秀であつても餘りにも大きい數の懸隔は犧牲を多く出すことになるのである▼軍事專門家の言を藉るまでもなく將來國土保全は防空は第二義的のものであつて先づ第一に人的要素即ち空中戰鬪員の養成が第一義でなくてはならぬ▼今次ノモンハン事件といふ現實の前に爲政者が醒めてパイロットを一人でも多く產み出さねばならぬといふ氣持に變つただけでも國民の慶びは大きいのである

人事往來

▲山崎善次氏（東邊道開發重役）二十八日來京ヤマトホテル
▲西川寅吉氏（滿洲ソーダ社長）同
▲大阪市役所鮮滿視察團一行七名同

香港獨人總引揚

【香港廿八日發國通】廿八日午前十一時在香港ドイツ總領事は本國政府の命により香港在住ドイツ人の總引揚げを命じた

社説

内閣總辭職

平沼内閣はつひに總辭職と決定したと報ぜられてゐる、内外の種々の事情を考へる場合、事がこゝに至つたのも已むを得なかつたことであらうと思はれる。後繼内閣の首班に何人が据はりまたその顔觸れにどのやうな人々がつらなるかは別として、われらはこの際ただ簡明にわれらの希望を述べて置こう。すなはち今はこの支那大陸に於いて前古未曾有の事變を遂行中なのである。そして歐洲の風雲また極めて切迫した情勢を示してゐる。かかる時、われらは出來るだけ速かに後繼内閣が組織され、この事態に臨んでの適切誤まりない對處を講じて行くことを望みたいのである。事變に對しても、また歐洲の問題に對しても日本の不動の根本的國策は儼として存してゐる筈である。要はそれを臨機應變に、また強力有效果的に實踐することなのである。この事變中にさきにも内閣は變つた。しかし日本の進路に動搖は無かつた。今もまたさうであることを信じたいのである。

ダンチヒの問題

獨逸の決意に對してポーランドも讓歩しようとしない。彼等から言へば獨逸にとつてのダンチヒは單に一つの附加物に過ぎないが、ポーランドにとつてはヴイスチュラ河の河口に在つて、その經濟の生命を握る絶對な存在なのである。殊にそれはポーランドの他の唯一の港グヂニアの對岸にあり、これを他に讓ることはポーランドが海の出口から全く遮斷され、その國防止の地位はズデーテンを取られたチエッコの如くになりやがて自滅の外はないと言ふ。

こゝで問題になるのは英國の保障である。ポーランドの軍備と國力は獨逸のそれとは到底比較にならないのだから若し單獨で獨逸と戰はねばならぬのであれば、獨逸の要求の前に戰はずして屈するか、或ひは戰つても獨逸は實力を以てその意思を貫徹し得よう。しかるに英國は獨逸がチエッコを併合してからその所謂和解政策を放棄してポーランドが戰ふ場合にはこれに對して救援に赴く旨を聲明したのであつた。從つて獨逸が力を以てダンチヒを併合すれば英佛も參加せざるを得ず、こゝに歐洲大戰は必至とならざるを得ないのである。

ダンチヒの問題は今や絶對絶命の境地にまで追ひ込まれてゐる。ただ戰爭になるであらうとの見方の外に、歐洲に全般的な和平運動が起つてダンチヒ及びポーランド廻廊の問題を解決するのみならず、地中海方面に於いても伊太利の要求を滿足せしめ、斯くて新しい事態に即應するロカルノ條約の如きものが出來るであらうとの見方もある。だが實際の上にはどう働いて行くか、これは事實に見る外ない

蒙疆地域を中心の新政權樹立運動
新情勢に鑑み積極化

【北京廿八日發國通】蒙疆地域を中心とする新政權樹立要望の民衆運動は澎湃として擡頭民意をもつて政治の大本とする防共新政權の具現近きにありとみられ東亞新秩序の一環が蒙疆において建設されんとしてゐるが、一地域における統一强力政權樹立の要望はその根底深く、さきに三自治政府結合の際徳王等の熱心なる主張があつたが遂に實現を見るに至らず、内部に鬱積して今日に至つた、しかるに重慶政府の地方政府への轉落愈々決定的となり、汪精衛の停戰和平運動の展開によつて、新中央政權の樹立が民衆の聲と化しつゝある實情は蒙疆政權にも强く作用し、政權の單一化、强力政府樹立の要望に拍車をかけ、本月上旬の徳王等三自治政府首腦の會談となり、遂に民衆の意思を基礎とする、新政治體制の確立が決定をみるに至つたものである新政權は東亞道義の昂揚、民意の尊重、共産主義の掃蕩を施政の基本として東亞新秩序の完成に邁進すべく、民衆の總意によつて具體化への道を歩んでゐることは同地域がコミンテルンの極東侵略前衞據點たる外蒙古と接壤してゐる點においてその意義は極めて大であり、殊に獨ソ不可侵條約の締結によつて防共樞軸の一環たるドイツの動向が危ぶまれ、且つソ聯の極東への攻勢强化の可能性が認められる新情勢下にあつて愈々重大性を增すものと見られ建設への熱意により日本と固く結ばれてゐる臨時政府も新政權誕生によつて東亞防共樞軸が强化されることに讃意と共感を有してをり、政權具現の曉は特殊密接な新展開も豫想され各方面より注目されてゐる

第四次蒙古大會
厚和市公會堂で開催

【厚和廿八日發國通】曾つて滿洲國の成立といふ興亞の息吹きに甦へり、果敢な内蒙古自治運動の大旆を高く掲げつゝもなほ多年に亙る蔣政權の壓迫に呻吟しつゝあつた、内蒙古民衆は、今次事變を契機に皇軍保護の下に相次いで民族の故地を奪回し遂に昭和十二年十月廿七日厚和において第二次蒙古大會を開催蔣政權の羈絆を敢然離脱すると共に蒙古聯盟自治政府を樹立し爾來約二年外に日滿支、内に察南、晉北との提携親善を愈々緊密にし躍進の一途を辿り文字通り西北に一大防共の鐵壁を築くなどその躍進ぶりは世紀に輝くものがあつたが、近時東亞新秩序建設その他内外諸情勢の發展に伴ひ今後の重大使命達成に遺憾なき態勢を整備すべく、蒙古政權の一大擴充發展を圖るべしとの聲が内蒙高原を蔽つて昂まるに至つたので、蒙古聯盟政府主席徳王はこの要望に基き内蒙古王公族、旗長、縣長旗代表縣代表その他宗教代表、各種團體職業代表、民衆代表等約三百名を厚和に招集、來る廿九日午前十時より厚和市公署會堂において第四次蒙古大會を開催これが對策につき種々決議を行ふことになつた、また一方蒙古政府管内三百萬民衆はこれに相呼應して政權飛躍を要望する一大民衆運動を隨所に展開するものとみられ俄然成行きは重視せられるに至つた

なほ蒙古大會は蒙古語にて「クリルタイ」と呼び一二〇六年成吉斯汗がオノン河畔に王公族を招集全蒙古の皇位に登極した蒙古大會は史上に最も有名にして、最近に至つては昭和十一年四月錫林勒勤盟に第一次蒙古大會を開催南京政權離脱、日滿依存の大方針を決定、第二次大會においては蒙古聯盟自治政府樹立を、また十三年七月一日の第三次大會においては政府主席に徳王を推戴するなど蒙古大會こそ民族興亡の重大問題を決定するために蒙古民族がその歴史と共に有する一大國民大會ともいふべき集會制度である

滿炭分割論等 馬鹿げた話だ
河本滿炭理事長談

滿京中の滿炭理事長河本大作氏は所用を果し廿八日朝入港の熱河丸で歸滿したが船中語る

滿炭分割論、このとんでもないデマのためえらい迷惑を强化してゆかうといふ際にこんな馬鹿げた話があるものか、おかげでシンヂケート團から誤解されて困つたよ、滿炭の業績を十分説明し密山の各炭鑛は勿論事業計畫に包含されたものは絶體に分割することはなく社債信託契約に違反する心配は全然ない旨シ團側の諒解を得るのに大骨を折つた、その結果社債一千萬圓發行が決定し前借二千萬圓計三千萬圓の資金を調達した、傳へられる密山開發に日鐵三井、三菱などの内地資本導入は現在の情勢から不可能ではないが、この問題は何等具體化してゐない

尚同氏は大連に一泊明二十九日赴京する

錦熱蒙地解説(下)

・生計地 旗長より旗民に永久に管業すべく與へた土地。

・福民地 蒙旗吏員としての役に對し其位置にある間特に旗長より收益を許した土地但し在役五、六年―七、八年に及ぶ時は本地を該人に給與し紅契を發給して永遠營業を保證する

・上賞地 扎薩克に對し特別功勞のあつたものに對し扎薩克が特に土地を賞給し、且つ紅契を發給して永遠管業を保證せる土地

・廟地 清朝或は王公、台吉、塔不嚢等の貴族より廟に寄進せる土地

以上の樣なものを擧示し得る。

次に漢人耕種の蒙地の種類及蒙人との契約の内容を例示すれば

(一)活契地(回贖出來る土地)

イ、典當地 錢到回贖(典當價を拂へば受戻し得る土地)

普通期限經過と同時に典當價を支拂ひ回贖するを要し、然らざる時は回贖し得なくなる。普通小額の租子を附帶し、清朝時代は蒙人の漢人への出典は禁止されてゐた。無期限のものにあつては典當價を支拂ふと同時に何時でも回贖出來る

ロ、押租地

租子料の保證金をとり、缺租の事實が發生しない限りは濫りに回贖することを得ず。缺租する時は缺租金額を押租銀より控除し殘金を小作人に返還し土地を回贖する

ハ、退租錢地

退租錢と言ふのは地主が從來の小作人に對し、必要に應じ所要金錢を提供せしめ其代償として租子を永久に低減する。かうした契約にある土地を退租錢地と言ふ

ニ、燗價地

期限付で使用收益權を提供した土地 例へば或地の地上收益權を五ケ年間一、〇〇〇元で提供した時は期限滿了と同時に地主は無償で回贖するものである

(二)死契地(回贖出來ない土地)

清朝時代には死契地と言ふものはなかつたが、これは滿朝の蒙地保護政策の故であつた。民國に入るに及んでかうした蒙古人の回贖不能の土地が出る樣になつた譯で、殊に湯玉麟が經界清理局を設けてから蒙地を活契地、死契地、白楂地に大別する樣になつた

イ、賣 地

純然たる意味の土地所有權の賣却では勿論ない譯であるが地價にも相當する相當の價格で以て、漢人に賣却し、租子等の負擔なき事實上永租權を持てる土地

ロ、典當地

期限が到達しても回贖せず實質上漢人が永租權を持つてゐる土地

以上回贖權を失つた土地も原則上小額の租子を徴收するのが普通であるが、それも單なる契約のみとなつて實質上租子を徴收してゐないことがよくある。

(三)白楂地

押租銀を取らず耕種せしめる土地を言ふ。蒙古人が押租銀又は地價(純然たる地價の意ではないが)を取得しない土地である、これは蒙古側の土地權利の强固なもので「五年清丈五年換契」等の文言を文契に書き入れ漢人の不正手段による土地權利の喪失を防止する。なほ白楂地は王公、台吉、塔不嚢等の貴族のみが所有するのを普通とする

(四)黑 地

原業主權者たる蒙人が不明で、漢人佃戸が何等の負擔なく耕種する土地を言ふ

以上略述せる蒙地農耕地についての土地に關する權利形態を綜括的に見るときは

イ、管轄治理權

ロ、吃租權

ハ、使用收益權

の三つを擧げ得る。使用收益權の形態に付ては明らかにせる通りであり蒙古側の吃租の事實は漢蒙人間耕種契約の附帶條件として不可離なものであつた。

錦熱蒙地に於ても、哲里木盟の開放地と同樣なる開放地は存在するのであるが、漢人の農耕を行ふ大部は一地に付き管轄治理權、吃租權、使用收益權の三つの權利形態を併せ考究せねばならぬ土地である。只黑地に付ては蒙古側の權利の發動は實際上ない樣にも見えるが、それに對しても管轄治理權の存在は否定するを得ない又土地を耕種、放牧以外の瓦、煉瓦の製造石灰、石炭、金鑛、磨石等の採掘の時も旗に屆出てその許可を得て初めて開採し得るものであつて執照下附の際に山份の額を定めて物納或は金納の方法で旗に納付せられる、この據つて來る所以のものは蒙旗のもつ管轄治理權に根據があり其の表面に現れた具體的發動である

結極錦熱蒙地の特殊な權利形態は封建的土地支配の中にあつては、民地に於ける樣な純然たる所有權の設定及其移轉は不可能であり、この土地支配權の形態を存續せしめたまゝ其上に蒙人と漢人との間に契約が僞されたことによる複雜性がある譯で滿洲建國後諸制大いに整つたものゝ其殘滓は依然として殘つてゐた、この事實に對して近代法的な解釋や理論のみを以てしては當然解明し得ないものであり、蒙古的封建社會の理解のみがこれ等の諸關係を瞭然たらしめる譯である。

星野總務長官訓示

開拓廳長會議における星野總務長官訓辭要旨左の如し

わが滿洲國は建國の理想實現のために國家總力を擧げその三大國策たる産業開發計畫、開拓政策並北邊振興計畫を樹立し之が實行に邁進し更に民生の向上に意を用ひてをります、しかして此等國策の遂行は東亞新秩序建設が道義的新大陸政策と相成りましたる今日におきましては只にわが滿洲建國の理想實現といふ點に止まらず、建國の理想實現を通じて更に東亞新秩序建設を目途とするといふ所まで進展して參つたのであります、三大國策の一たる開拓國策の終局の目途とする所亦全然之と軌を一にしなければなりません

即ち東亞現段階における滿洲開拓政策は日本内地人開拓農民を中核として各種開拓民並に原住民等の調和を圖り日滿不可分關係を鞏化し、民族協和を達成し國防力を增强し、産業の振興を期し兼て農村の更生發展に資しもつて開拓を通じて建國の理想を實現するといふ點に止らず更に進んでわが建國の理想實現を東亞全體に提示し、此を東亞新秩序建設の範たらしむる迄に進展して參つたのであります

即ち約言すれば開拓國策の遂行は日本内地人開拓農民を中核として民族協和し之を據點として建國理想を實現し更に進んで建國の理想の通りに建設せられたるわが滿洲國を據點として道義的新大陸政策たる東亞新秩序を建設することを現段階における根本的目途とするといふことゝ相成つたのでありまして更に要約して申せば「滿洲開拓政策は日滿兩國の一體的重要國策として東亞新秩序建設のための道義的新大陸政策の據點を培養確立するを目途とするのであります

開拓政策の 滿洲國建設の理想實現上、東亞新秩序建設上における地位、重要性はかくの如きものでありますることのわが滿洲開拓政策の根本目途とする點を常に念頭に置き之を各位座右銘とも心得て開拓政策の遂行に專心努力せられんことを衷心希望する次第であります

今後の開拓政策の詳細の點に關しては他の諸君より御示しに相成りますから私は之れ以上觸れません

只特に一言 各位に申上げます、東部地方御巡狩中の皇帝陛下には去る廿四日畏くも御自ら第一次開拓團彌榮村に御巡狩に相成り具さに開拓状況、開拓農民の生活を御覽遊ばされ殊に一開拓農民に單獨謁見の光榮を賜はりたる等開拓政策、開拓民の上に御心を注ぎ給へる有難き御仁慈に應へ奉る各位は今後一層御心に副ひ奉るの覺悟を新にしなければなりません

轉換期開拓政策の根本問題を檢討
開拓廳長會議開催

去る七月準備委員會により決定を見たる開拓政策基本要綱案を中心に轉換期開拓政策の根本問題を檢討し併せて明年度事業計畫豫算編成方針その他の重要事項を討議すべき開拓廳長會議は廿八、廿九の兩日に亘り日滿軍人會館講堂において中央、地方を通ずる開拓關係者全部出席の下に開催會議第一日たる廿八日は午前九時開會、國旗に對する最敬禮、開拓の英靈に對する默禱をもつて嚴かに開會、柏村産業部次長の開會の辭について呂産業部大臣、星野總務長官(代讀)の訓辭あり、結城開拓總局長の開拓政策基本要綱の詳細なる説明が終つて後一時休憩に入り、午後一時再開、基本要綱、豫算編成方針に關する質疑應答を行ひ隔意なき意見の交換を遂げ第一日の日程を終了午後四時散會した第二日は同樣廿九日午前九時開會、開拓總局その他關係部局の指示、各省希望事項を開陳後懇談を行ふ豫定である

なほ本會議出席者中主なるものは左の如し

△中央側 黑川中佐、三品少佐、稻垣拓植委員會事務局長、神田企畫處長、菅、福田兩參事官、結城開拓總局長、五十子總務處長、民生部、生駒部、交通部各關係官、經濟安江、花井、中村各滿拓理事、岡田滿鮮拓、梅野土地開發、佐藤糧穀各理事

△地方側 奉天、吉林、龍江、濱江、黑河、興東、興北、北安各開拓廳科長

呂産業部大臣の訓示

開拓廳長會談における呂産業部大臣の訓辭要旨左の如し

△…近時世界の情勢とみに緊迫を加へ我が國滿洲國に對しても重大なる影響を與へたり、殊に北邊に於ける數次の事件は益々之れに對する嚴重なる防備を要求しつゝあり、政府は此の事態に即應すべく民族協和の積極的達成、日滿不可分關係の確立、國防國家の態勢鞏化を目標とし産業開發、國土開拓、北邊振興等の諸政策に一段の研究努力を重ね其の重行を促進しつゝあり、就中之等諸政策の基底としての開拓政策の急速且圓滿なる遂行に付種々研究を重ねたる結果、開拓政策に對して全面的再檢討を加ふべく本年頭先ず、新京に於て日滿官民の會合を得爾來愼重審議すること半歳漸く先般東京に於ける開拓政策日滿懇談會を以て其の基本要綱案の決定を見たるものにして本大臣も親しく其の席に臨み關係各位の熱誠と努力とに對し誠に感謝敬服に耐へざるを覺へたり

△…本要綱案を通觀するに開拓諸制度に付刷新的方途を明示し日本内地人開拓民を中核とする民族協和の達成を理想とし日滿兩國指導監督の責任分野を確立し兩國關聯事項の緊密なる連絡協調を希望しあり、即ち滿拓公社、滿鮮拓植會社は綜合せられ新滿拓の形において政府の補助機關となり日本内地人開拓民並にこれと關聯する滿鮮開拓民等各種開拓民の補導助成に當ること等各種開拓民の調整は一層圓滑なるを得べく、開拓地における諸機構は可及的速にこれを滿洲國諸制度に融合統一せしむることゝせるをもつて、今後之をもつて、之が各般行政の積極的整備に貢獻する所尠からざるべし、又滿洲開拓青年義勇隊訓練本部の設置はわが國青年義勇隊訓練機構の確立、統一に資する處頗る大なるものあり、更に農地制度、金融制度等各般にわたり根本的刷新の方途を明示したるは誠に偉とすべし

△…然りと雖も本要綱が所期の目的を達し得るや否やは懸つてこれが運營の如何にあり、運營にして誤たんか折角の要綱も全く效果なきに至るのみならず却つて弊害の起るなきを保せず各位の責任は頗る重且大なり

監察令(上)
九月一日より施行

第一條 監察は法令に別段の定ある場合を除くの外本令に依り之を行ふ

第二條 監察は建國の本義及國策の趣旨に照し官公署(官公立營造物を含む以下同じ)の施政及綱紀の状況並に法令に依り政府の監督を受け國策遂行に關與する特殊團體にして國務總理大臣の指定するもの(以下單に特殊團體と稱す)の業務の状況を監査督察し綱紀の肅正及國勢の振興に資するを以て其の目的とす

第三條 監察は嚴正公平且精到的確に之を施し苟も偏頗放漫に墮することあるべからず

第四條 監察は懇切を旨とし徒に非違の摘發に偏することなく人材の發見善行の顯彰に努むべし

特殊團體に對する監察は業務の督勵に重點を置き、その創意及活動の機能を委縮沈滯せしむることなき樣特に留意すべし

第五條 官公署に對する監察は左の事項(軍に關する事項を除く)に付之を行ふ

一、建國精神の體得及實踐の状況
二、政務の計畫及實施の状況
三、法規及命令の周知徹底及運用勵行の状況
四、行政處分其の他事務處理の適否及其の能率の良否
五、民衆處遇及民心把握の状況
六、人事賞罰及教養訓練の状況
七、豫算の編成及運用の状況
八、職員の服務、紀律、監督及統制の状況
九、職員の非違、越權又は怠慢の有無
十、職員の配置及事務分配の適否
十一、部内の融和及關係機關との連絡協調の良否
十二、廳舍その他の物的施設の整備物品の保管及簿册整理の状況
十三、前各號の外必要と認むる事項

第六條 特殊團體に對する監察は主管官署の監督權に基き左の事項に付之を行ふ

一、團體設立の目的より觀たる業務運營の適否
二、法令、定款若は主管官署の命令に對する違反又は公益侵害の有無
三、業務計畫遂行の成績及能率の良否
四、前各號の外業務監察上必要と認むる事項

第七條 監察は綜合監察と一部監察とに分つ

綜合監察は監察を受くべき官公署又は特殊團體に付前二條に掲ぐる事項の全部に亘り綜合的に之を行ひ一部監察はその一部に付之を行ふ

綜合監察は實地に就き之を行ひ一部監察は實地に就き又は文書若は口頭に依る報告を徴して之を行ふ

第八條 綜合監察は特命監察使、總務廳監察使、各部監察使、省監察使は黑河省監察使及興安各省監察使を(含む以下同じ)、新京特別市監察使又は首都警察廳監察使に依り之を行ふ

第九條 官公署に對する一部監察は總務廳、各部、省(黑河省及興安各省を含む以下同じ)、新京特別市又は首都警察廳の監察擔當の參事官又は理事官若は技正に依り之を行ふ

國務總理大臣、各部大臣、省長、新京特別市長又は警察總監は必要ありと認むるときは監察擔當の參事官又は理事官若は技正以外の所屬高等官をして其の管掌事務の範圍に於て監察を行はしむることを得

第十條 特殊團體に對する一部監察は之を監督する主管官署の高等官にして當該團體に對する監督の事務を掌する者に依るの外當該官署所屬の監察擔當の參事官又は理事官若は技正に依り之を行ふ

第十一條 特命監察使は國務院特任官又は已むを得ざるときは國務院簡任官中より國務總理大臣之を特命し其の特に指定する官署に對し綜合監察を行ふ

特命監察使には輔佐官及隨員若干人を附す

輔佐官は國務院高等官及特に必要ありと認むるときは官吏以外の適任者中より、隨員は國務院委任官中より、國務總理大臣之を命じ又は委囑す

第十二條 總務廳監察使は總務廳次長其の他の總務廳簡任官中より國務總理大臣之を命じ左に掲ぐる官公署及特殊團體に對し綜合監察を行ふ

一、總務廳其の他國務總理大臣の管理に屬する官署及該官署の長の管理に屬する官署

文官給與令特例

文官給與令第十一條第一項の特例に關する件ほか十件は去る十四日の第四十次國務院會議を通過し、參議府會議の諮詢を經て廿八日公布された公布件名左の如し

一、文官給與令第十一條第一項の特例に關する件(文官の增俸は當分の間權衡上特別の事情ある者に限り文官給與令第十一條第一項の規定に拘らず之を行ふことを得九月一日施行)
二、首都警察廳官制中改正の件
三、刑法中改正の件
四、康徳三年勅令第六十八號法院の設立及管轄區域並に檢察廳の設立に關する件中改正の件
五、暫行興安各省審判署條例中改正の件
六、法院及檢察廳職員定員令中改正の件
七、監獄官制中改正の件
八、省立勸農模範場官制
九、中央觀象臺官制中改正の件
一〇、康徳六年度一般會計第二準備金支出の件(總務廳所管臨時部第五款委員會費として一萬四百卅九圓支出)
一一、康徳六年度一般會計第二準備金支出の件(産業部所管臨時部第二款産業團體助成費として五千圓支出)
一二、康徳六年一般會計第二準備金支出之件(産業部所管臨時部第二款産業團體助成費=補助優秀發明展覽會費=として一萬三千圓支出)
一三、康徳六年度一般會計第二準備金支出之件(經濟部所管臨時部第九款經濟團體助成費=補助日滿中央協會費として一萬圓支出)

商況 六日後場

各地株式市況

●大連株式(短期) 寄付 大引 [illegible]

●奉天株式(短期) [illegible]

手形交換高(二八日) [illegible]

協和欄

綱領

滿洲帝國協和會は唯一永久、擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり
一、建國精神を顯揚し
一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し
一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し
以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す

協和會問答

協和會の本質―協和會とは何か（八）

問　組織體とはどう云ふものですか。

答　例へば人間の身體の樣なものです。人間の身體は眼に見えない程小さな細胞を以て作られてゐる。この細胞が集つて腦髓を成し、眼や耳や口や鼻を成し手足を成してゐる。そして腦髓の命令は全身を動かす、眼や耳や口や鼻や手足に感ずることは腦髓に傳はり、その結果腦髓は之に應ずる命令を身體の諸機關に傳へる。かくて人間は活動するのです、協和會の會員は細胞であり、之が集つて丁度人間の身體の樣な組織を作り、全體が一つのものとなり、中央よりの意志は各部に傳はり、各部分の意思は中央に傳はり、かくて全會員一體となり活動するのが協和會です。組織體と云ふのは此意味です。

問　すると協和會は我國の總ての民族、總ての層を網羅する組織となる譯ですね。

答　さうです。軍人も官吏も實業家も農民も商人も、凡て協和會の趣旨にも贊成して正規の手續を經て協和會に入會した者は皆協和會員となる譯です。協和會の活動が旺盛になればなる程、會員は增加し組織體は成長して行くのです。この組織體を動かす力、人間の身體で言へば生命に當る力は協和會のうちに宿る建國精神です。協和會は建國精神と云ふ魂を有つた身體です。子供が營養を攝り成長する樣に、協和會は人民を組織の中に吸收しつゝ成長するのです

問　我國の人民は將來一人殘らず。協和會員になるわけですか。

答　それが協和會の理想です現在ではまだ會員は全國民の何十分の一二に過ぎませんが、協和會の精神を理解し共鳴する者が殖えるに從つて會員は增加し、將來は全人民皆協和會員となり、協和會精神の實踐に努力することゝなります。尙我國の人民でなくとも、協和會の精神に共鳴し之を實踐しようとする人は、協和會員となつて協和會の爲に働くことが出來ます。協和會の活動分野は具體的には我國內にあるのですが、精神的には全亞細亞、否全世界を活動の範圍としてゐるのです。

活動を促さんとするものでありその

成果は一段期待されてゐる

滿洲特產工業增資

滿洲特產工業（資本金三百萬圓半額拂込濟）では同社生產の文化米年產九萬キロトンを十八萬キロトンに、アルコール年產一萬五千石を五萬石に夫々增產するほか全面的生產擴大化を圖るため工場增設を企圖、このほど同社役員會で右增產擴充計畫に要すべき資金として現資本金未拂込のまゝ新たに七百萬圓を增資、資本金一千萬圓とすることに決定、來る九月十六日日本工業俱樂部で開催の同社第五回定時株主總會に附議して正式決定するが增資新株十四萬株中十二萬株は舊株一株につき二株の割合で割當て第一回拂込みは四分の一とする模樣である

本年度全聯へ提出議案（十六）

文化進展の方策

物價及び物資の配給

首都（上）

一、育英資金擴充に關する件
一、貧困保護事業の擴充强化に關する件
一、文化進展方策に關する件
一、官廳と特殊會社等の待遇及び給與の統制に關する件
一、協和會運動の徹底に關する件
一、電話度數制度に關する件
一、物價及び物資の配給に關する件
一、協和義勇奉公隊の活動に關する件
一、石炭に關する件
一、住宅に關する件
一、小麥粉に關する件

□

一、文化進展方策に關する件（經濟部分會提案）

理由

我國は政治、經濟、產業等各方面に亘り目醒しき躍進を續けつゝあるにも不拘獨り文化に關する限り未だ甚だ低調なるは極めて遺憾なり速かに之が對策を樹立するの要あり特に國民精神作興上多大なる阻害となるものは之を排除する反面健全なるものを創造し以て滿洲國新文化建設に邁進せられんことを要望す

辦法

一、一般大衆に對し極めて大なる影響を與ふる映畫、演劇、放送、レコード、歌謠等にして頽廢的傾向を有するものは關係機關に於て更に嚴重なる取締を實行する反面協和會に於ては之等に更るべき健全にして興國的新文化創造に研究工夫を重ね其の普及を圖ると共に彼上の各種に對し適正なる指導を行はれ度

二、純正なる日本文化の普及上最も重要なる役割を有する日本紙書籍に所謂外地定價なるもの附せらるゝあり、一括關稅的障壁を設けあるは我國文化の向上を阻害するも甚だしきものと言ふべし宜しく日本書籍の定價賣りの斷行販賣配給の合理化を圖られたし

□

一、官廳と特殊會社等の待遇及給與の統制に關する件（外務局分會提案）

理由

官廳會社間に於て其の待遇及給與上に逕庭あるに依り國內の人的配置に不均衡を來しつゝある實狀に鑑み官廳會社を一體とする待遇及給與に付き適正なる調整並に統制をなす要あり

辦法

綿密なる調査を行ひ、其の合理化を圖り進んで一部技術員に付企圖せられあるが如き統制を其他一般にも適用せられ度

□

一、物價及物資の配給に關する件（外務局分會提案）

理由

現時局下に於ける國民生活必需品の價格騰貴及物資配給の不圓滑に就ては國民擧つて消費節約貯蓄の實施等に依り之が騰貴の抑制及配給の圓滑に資さねばならぬは勿論なるも關係當局に於ては更に一段の徹底的方策を議し民生の安定を圖られ度

辦法

一、生活必需品の物價及物資問題に關し根本方針を樹立せられ度
二、公定價格の徹底、不正商人の取締を嚴にせられ度

□

一、育英擴充に關する件（民生部分會提案）

理由

優秀なる素質を有する靑少年に對し勉學の機を與へ眞に有爲の人材たらしむる爲めには現行育英資金制度のみにては不充分なりと思料せらるるに付更に之が擴充强化を計られ度

辦法

一、現行制度を更に擴大强化するの外協和會に於ても育英資金の調達に努め貧窮にして優秀なる素質を有する靑少年を多數養成せられ度
二、育英資金貸與の範圍を中等學校に迄擴大すること

協和運動の犧牲者の碑へ

齊々哈爾匿名士寄附

協和工作齊々哈爾地區の犧牲者故若林一郎氏の記念碑が新たに建立されるにつき故若林氏が匪匪のため殪れた當時來齊した齊都の一邦人市民がこれに感激し、この程匿名で金十圓を『記念建立資金』にと左記手紙を添へ協和會齊々哈爾市本部に寄附、係員を感激させた、市本部ではこの奇篤な市民を探査の結果、右は昭和祥營業主任某らしいので近く感謝の辭を述べる事となつた

康德六年八月　匿名

協和會市本部御中

先般新聞紙上にて若林一郎氏の記念碑建立せられる由私はその當時來齊して居ました者で、同氏の御遭難當夜に御通夜に參りました者であります、今思ひ出せば感慨無量であります、現在協和會の發展當初の功勞者に對し敬意を表し甚だ僅少でありますが建立費の一端に御加へ下さる樣御願ひ致します　敬具

白露協和靑年團

興亞の盟主日本へ

興亞の盟主日本の正しい姿を認識し併せて日本靑少年との交驩を圖らうといふ協和會並びに白系露人事務局主催による哈爾濱白系露人協和靑年團の訪日計畫に就いては既報の通りであるが、愈々今秋九月十五日出發まで京城に於ける興亞靑年大會に參加して防共の前衞たる白系露人の意氣を昂揚して渡日、約二十日間に亘つて日、鮮、南滿諸都市を歷訪することになつた、一行は今夏大連夏家河子に於て團體訓練を受けた二十五名で、協和會露人部、加藤部長、片桐部員、白系露人事務局スユーバーン學務係が引率者として同行するが日程左の如し

△九月十五日午後十一時半哈爾濱發△十七日京城、興亞靑年大會參加△十九日嚴島△二十日京都△二十一日名古屋△二十二日より二十六日まで東京、學校靑年團交驩△二十七日箱根△二十九日奈良△三十日大阪△十月二日神戶△三日別府△四日熊本△五日博多△七日大連△八日午後零時五分歸哈

國務院官制改正

十四日の第四十次國務院會議で可決された國務院官制中改正、同各部官制中改正、省官制中改正、黑河省官制中改正、興安各省官制中改正、新京特別市官制中改正の諸件は參議府會議を通過し、廿八日左の通り公布された

△國務院官制中改正の件

國務院官制中左の通り改正す

一、第十三條中「參事官三十五人薦任（內六人を簡任と爲すことを得）」を「參事官四十三人薦任（內八人を簡任と爲すことを得）」に、「事務官六十七人薦任」を「事務官六十九人薦任」に「屬官二百三十九人委任」を「屬官二百四十九人委任」に改め「監察官四人薦任（內二人を簡任と爲すことを得）」を削る
二、第十四條第四項を削る

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

△國務院各部官制中改正の件

國務院各部官制中左の通り改正す

一、第十二條中「警務司長簡任」の次に「參事官三人薦任」を加へ「屬官二百四十九人委任」を「屬官二百五十人委任」に改む
二、第十三條第一項の次に左の一項を加ふ
參事官は上司の命を承け機務に參畫し及特に命ぜられる事項を掌る
三、第二十一條中「參事官四人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官五人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官百四十六人委任」を「屬官百四十八人委任」に改む
四、第二十八條中「參事官五人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官七人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官百人委任」を「屬官百七九人委任」に改む
五、第三十五條中「參事官四人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官六人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官百四十八人委任」を「屬官百五十一人委任」に改む
六、第四十三條中「參事官五人薦任（內二人を簡任と爲すことを得）」を「參事官七人（內二人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官二百七人委任」を「屬官二百四人委任」に改む
七、第五十條中「參事官四人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官六人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官八十二人委任」を「屬官八十三人委任」に改む

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

△省官制中改正の件

省官制第一條中「參事官十五人薦任（內四人を簡任と爲すことを得）」を「參事官二十八人薦任（內四人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官千五百八十五人委任」を「屬官千六百十三人委任」に改正す

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

△黑河省官制中改正の件

黑河省官制第一條中「參事官二人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官三人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官七十三人委任」を「屬官七十四人委任」に改正す

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

△興安各省官制中改正の件

興安各省官制第一條中「參事官二人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」を「參事官四人薦任（內一人を簡任と爲すことを得）」に、「屬官二百二十一人委任」を「屬官二百二十五人委任」に改正す

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

△新京特別市官制中改正の件

新京特別市官制第一條中「屬官七十四人委任」を「屬官七十五人委任」に改正す

附則

本令は康德六年九月一日より之を施行す

滿系義勇奉公隊の組織を整備擴充

首都本部の積極策

軍用電線愛護の普及徹底を圖り軍民一致協力で首都防衞の完璧を期せんとして協和會首都本部では去る十九、二十一二十二日の三日間に亘り本部會議室に滿系側義勇奉公隊十數隊の各幹部を召集懇談を開催

多大の成果を收め面してこれが愛護工作の具體的實踐方法については近く何等かの形で表面化する筈で期待されてゐるが、首都本部ではこの電線愛護工作を契機として滿系側義勇奉公隊の組織を整備擴充すべく計畫を樹て本年內にこれが浸透を期して積極的に働きかけることゝなつた

即ち電線愛護工作は地域的に責任を以て保護せしめんとするものであるが、延いて從來滿系側の地域奉公隊、地域分會、地域靑少年團等に於てこれ等の下部所謂班或は組の組織に不徹底の憾みがあつたのに鑑み下部組織をがつちり固めると共に從來班組の未結成の分隊或は分會に對しては結成せしめて今後の協和活動の根底を組に置き組から班へ、班から分會へと細胞的に組織力强い

奉仕隊員が開拓民を希望

居殘るものが續出

綏化から鉄驪樹まで一日一回往復してゐる建設列車で王楊驛に下車、それから秋草の咲き亂れてゐる未耕地を分けて開かれた開拓道路を徒歩で西に向ふ、目差すは驛から五、六キロ第七次靑葉開拓團だ、途中秋草を樂しみながら開拓團に行き着いたが、まだ先遣隊が入つてゐるだけで家族は少しも來てゐない、みんな元からある滿農の家をそのまゝ本部に使つたり合宿所に當てたりしてゐる

こゝには愛媛の奉仕隊が一ケ小隊配屬されてゐる、警察室に隣る先遣隊の合宿所を隊員の宿舍にしてみん集團生活だ、獻立は中央實踐本部から廻されたものなので、どの奉仕隊も同じだが、交通や輸送の關係で仲々獻立通りの材料が手に入らないので適宜に變更するといふことだが隊員達は決して食事の不足を言つてはゐない、來たばかりの頃は開拓團の人が炊事を指圖したゝめに宮城縣と愛媛縣の地方的の調理法の差や、味覺の違ひのために食物の不平が出たが、開拓團側でもこの點に氣がつき近頃は炊事は隊員に一切自治的にやらせることにしたので、隊員達は非常に滿足してゐた

隊員達とも色々語り合つたが不平は一言も出ずにたゞ感謝と滿洲事情に對する質問が次々と持ち出された、匪賊の密偵らしい者を前夜半苦力小屋で捕へたばかりのやうな物騷と云へば云へないこともない現實を見てゐながらこゝの奉仕隊員の中には十名以上も居殘り希望者が出てゐるといふ

夕刻開拓團員とも奉仕隊員とも名殘りを惜しみつゝ再び王楊驛前に引き返しこゝで迎へのトラックに乘つて第七次安拜開拓團に向ひ赤い夕陽が漸く沈みかけた頃目的地に着いた

その夜は滿映の映畫班と落合つたので本部の前にスクリーンを張つて慰問映畫會を開く、本部から附近の分駐所の滿人警察官にも朝鮮人部落にも招待の電話が飛ぶ、まだ暮れ切れぬうちに本部前の廣場は日滿鮮の老幼男女で一杯に埋まつてしまつた

敷きつめられたアンペラの上でみんな一緒にスクリーンを見入つてゐる、映される映畫は必ずしも面白いものではなかつたが、トーキーは始めて見る人々が多いのでこのものを言ふ寫眞は一大センセーションをまき起したわけだ、どこから音が出るかとスクリーンの後を覗いて見る滿人も居り、スクリーンを叩いたり觸つたりしてみる老爺もあつた、それればかりか電氣のないこの邊では發動機によつて灯もされた明るい電燈が不思議で仕方がない老婆もあつた、夜氣が冷たく、蚊軍に攻められるのも忘れて十二時過ぎまで一人としてこの場を去る者がなかつた【王楊開拓地にて一記者】

家庭

勉强嫌ひな子供 强制よりも鼓舞
二學期に親達の注意

長い休暇も終り新學期を迎へましたが子供達の中には勉強の嫌ひな子もないとは限りません、萬一さういふ子があつたら、母はどうしたらいゝでせうか、それには先づその原因を探つて見ることが第一です。勉強

嫌ひ の原因と申しましても色々ありますが、先づ生理的方面の缺陷親の氣のつかない近視とかアデノイドかういふ病氣から來るもの、それから無精だとか、學科が理解出來ないために嫌ひだとか、能率が上らないのでやり甲斐を感じないのだとか他に大好きな惡戯があつて、興味がその方に奪はれるといふやうな種々な原因があります。これらは主として兒童側の缺陷ですが、その他又教師や兩親が無やみに叱つたり、周圍のものが勉強を邪魔扱ひにしたり教へ方が無味乾燥であつたりするのも、勉強嫌ひの原因になることもあります

身體 方面に缺陷がある兒童は、お醫者に相談して、先づ健全な體をつくり上げねばならないのでありますが無精でどうしても勉強する氣持になれないといふ子供でも、よく觀察しますと、意外な病氣を發見する事があります、さういふ子供は、身體が快復しなければ勉強に興味を抱いて來ないものでありますから醫師の診察を乞はないで、やたらに無精たと責めたてるのはいけません子供の

素質 が惡いために勉強に興味を持ち得ない場合でも、その個性を見拔いてこれに適當した手段を講ずるのが教育なり保護者なりの任務であり例へば難しい教材を天下り式に與へることは避けて、學習したものは、上達が目に見える樣に仕組んで置て、勉強のやり甲斐があつたことを知らねばなりません、下らない惡戯に夢中に成てゐるものはそれに妨害を加へる一方、勉強の快味を味はせます、優等生と一緒に生活させるのも非常に効果的であります、特に叱る事と褒めることは、子供を勉強家にもすれば怠け者にもし、善良にもすれば不良にもする大切な事なのですから子供の心理をよく考へて時と場合を辨へねばいけません。

一般 に叱りさへすれば勉強しないでゐられなくなると信じてゐる人が多いようですが決してさうとは限りません、惡い所は叱らねばなりませんが同時に無理にも長所を發見して賞讃してやらねばなりません、頭の惡い子供でも何かの長所は持つてをり、これを是認して奬勵し鼓舞すれば、だん〳〵と勉學を好む樣になるものであります、すべて勉強するよりも希望と理想を與へ、どうあつてもこれだけは果したいといふ氣持を起させる事が大切であります。

煙草が過ぎると 小皺がふえる
婦人はニコチンに弱い

どんなものでも、良い、惡いの二つの方面がある、御飯でも同じだが、あの猛毒といはれる砒素劑さへ、用ひ方次第では體質を丈夫にしたり、歯の治療などにも缺いでならぬ藥になる。

煙草 は或はよいといひ、或人は惡いといふ惡いといふのは、煙草の中に有害成分としてニコチンが含まれてゐるからだが、惡いといふのはニコチンの量の多い場合である。適當の喫煙なら、沈んだ氣持を追拂ひ、氣分が引立ち爽やかな心持になる。併しそれが度を

越し たら、精神不安の狀態となり、氣分がイラ〳〵してぢつと物を考へつめられない、そのために精神作業の能率を減らすばかりか目まいもする頭が痛む、そして睡る事が出來なくなる。殊に心臓に對しては著るしい變化を起して、心臓の働きが盛んになり、動脈の硬發する傾きを起す。これ等の中毒症狀は婦人や子供などに特に強く現はれる煙草を喫むといくらか瘦せるが、それは中毒のため、つまり病的な瘦せである。またニコチンの中毒で消化作用をさまたげられるために愛煙家は、小じわが多くなつたり、顔色が惡かつたりする。だから中毒するまで煙草を飲むことを、おそれるなら、婦人や子供も青年男子は喫煙をやむべきであらうし、それほどでなければ禁止するに及ばぬ男女を比べると、女の方がニコチンに對して弱いといへる。しかし

適度 の喫煙は、前述の外に或は性慾の活動を鈍らせ或は過飲過食を防げるとか、或はまた社交上にも或る程度の利益を與へるとかいふ事がある

これから流行する 犬病に就て(上)
▼…新京軍用犬相談所の談

秋冷をそろ〳〵覺ゆる頃から多に入り、又春さきから夏に至る間犬に與發する疾病の豫防方法を述べて見ましやう

一、犬瘟熱 この傳染病は四季を通じて各地に常在するのですが最も危險な流行期は滿洲では秋九月から春五－六月に至る期間でこの死亡率は優良犬程高く生後三－十一ヶ月位のものでは八割以上を示し、愛犬家にとつては正に一大脅威であります。でありますから物事は事前に豫防するのは先決問題であつて、已に定型的の諸病狀即ち眼から脂を出すとか股間に發疹が出來るとか、鼻汁を出すとか時に咳嗽して食慾はない等は犬瘟熱の

初徴 でありますから此の微候の現はれない前に所謂百の治療よりも一つの豫防は必要であります。日本では各研究所で從來不可能であつた犬瘟熱の病原濾過性微生物の人工純粋培養の成功に基礎を置いた理想的な豫防注射藥の製造が出來たのであつて愛犬家なるもの秋一回春に一回の注射をすれば免疫性は高度し得られるわけであります、最寄りの獸醫師さんに依頼の必要はあります、尚ほ生後三ヶ月以內の仔犬には此の注射をやる前には必ず腸內寄生虫にする被害は相當甚大であるからして

適切 なる驅虫法を勵行されましてこの注射と相俟つて、愛犬を此の慘害より護ることは目下の急務であります。

二、狂犬病 この疾病は野犬に多くて發病しますから、家畜犬に傳染するのであります。市公署では野犬の撲殺、家畜犬に豫防注射を勵行して居ります、この注射は年一回年に注射すれば本病に對し高度の免疫性を得られるわけであつて、特に御心配のお家では春秋二季で注射さるれば確實なること此上なしであります

さて 狂犬病と云ふ傳染病は世界の大都會には共通的のもので各國共警察管理の下で豫防注射の確實なる實行を期して居るのは人の天然痘に於けると同じであります、どうか犬を飼養する方は是非共この注射だけはお忘れにならないやうに御勵行を望む次第であります。元來狂犬病に罹るのは人畜共通であつて、發病すると如何なる治療法も奏功することは出來ぬ即ち完全に治療する方法は今日の醫學ではないのであります、只病犬に咬まれたならば直ちに醫師に受診し局部の手當で豫防注射を十八日間繼續してやらねばならぬ程到はあるのでありましてその注射は完全にゆかぬ場合には危險でありますこうなると犬はいろ〳〵の病氣はあるから犬を飼ふのは危險だから止したらよいなど消極的な論をなさる方がありますが何事も一つよい事あれば一つ不利な點が起るのです

その 不利な點は人力で出來ぬ相談ならば止むですが皆な豫防が出來る、今日の文明化されてあるのですから何も共にやむ必要は毫もないのであります。狂犬に咬まれたなればその犬は狂犬病であるかどうかを獸醫師にその犬を見せることは必要であつて每年豫防注射なしあるや否やも點檢することは必要であります(つゞく)

健康相談
子宮が普通より小さい

(問) 拜啓秋凉漸く催して參りました扨て私事藥書にて誠に失禮だと思ひましたが一寸御尋ね致します。何等お敎へ下さいます樣御願ひ申上げます。昨年春嫁ぎし二十三才の人妻ですが、常に健康なのに子供に惠まれないので診察して戴きました所、子宮が少々小さいとの事で落膽致しましたが子宮が普通より小さい人には姙娠見込はありませんでしやうか、醫師よりはホルモン注射又は搔爬が良いとの事ですが果して効果が有ますでせうか、又どんな方法手當が良いのでしやうか恐れ入りますが姙娠見込あるものか其の方法を何卒新京新聞紙上でお答へ下さいませ幾重にも御願ひ致します。(新京春子)

(答) 物にピンからキリ迄ある樣に子宮發育不全症にもピンからキリ迄ありまして最も發育の惡いのは小兒性子宮と云つて先づ姙娠の見込はありませんがそれ以上の大さの子宮發育不全症では全々姙娠の見込がないとは云へません例へば尋常の大きさの子宮の人が十人居て十人共姙娠するものとすれば子宮發育不全の人は十人居て六人位の割に姙娠する物であります。殊に貴女の樣に僅か許り小さい程度の子宮發育不全症の方では或は夫れ以上に姙娠の可能性がありますので決して悲感する必要はありません。普通の場合結婚後五ヶ年以內に姙娠するものでありまして貴女の樣に結婚後僅々一ヶ年で不姙だからと云つて悲感されるのは余りに短氣すぎると云ふものです。

次に子宮發育不全症の治療法を述べませう。此の療法には普通次の三方法が擧げられます。即ちホルモン(腦下垂體前葉ホルモン、卵巢ホルモン)療法、子宮內膜搔爬手術、熱性膣洗滌法であります。而も此の治療法は五に併用せねばなりません。只だ一方法のみに賴る場合は効果が薄弱です。而も三方法には各、特長があつて優劣はありません。其の他一般療法としては適度の運動、榮養攝取であります。尚、性ホルモン療法及び熱性膣洗滌法は氣長く一年でも或は夫れ以上も連續すべきです。

私の經驗から云ひますと子宮發育不全症の患者は初は馬力をかけて治療しますが二、三ヶ月後、姙娠しないと直に治療を中止する人が大部分です。是れでは仲々そう簡單に姙娠するものではありません。要は短氣を起さず氣長に治療せねばなりません。それから貴女は子宮內膜搔爬手術に恐怖心を持つて居られますが此の手術程婦人科手術中簡單で患者自身に對しても氣樂な手術はないものと思ひますから決して御心配なく手術を受くべきでせう。(回答者新京特別市立保健所産婦人科長醫學博士成松清品)

都會生活者に
密柑箱園藝の興味

多忙で空地がなくて生野菜が高くて困るといふ都會の生活者へ蜜柑箱利用の小さい畑のつくり方をおしらせしませう、手がかゝらず收穫は相當あり、毎日のさゝやかな勞働に健康な愉しみを見出すことも出來ます、これからの季節ならば白菜、蕪、大根を播けばよいし、小松菜、チシヤ等はいつでも收穫の出來るやうに播くことが出來ます

夏蜜柑 の畑をつくるには巾七寸五分、深さ五寸、長さ九寸位の空箱を用意し先づよい土と肥料を整へますよい土は酸素の多い土のことで、よく耕して空氣に當て、粘土質の土はいけないので砂をまぜてさらさらした土にする、更に腐葉土と云つて落葉やその他腐らした推肥を四割から五割までまぜると、今まで何も育たなかつたやうな條件のわるい土でも良質になります

肥料は極めて大切で、見當違ひのものを與へたり多過ぎたり少な過ぎたりしてもいけない、花や果實を望むものは燐酸肥料を必要とするが、植物全體に缺けてならないのは第一に窒素肥料、次に燐酸と加里です

大根や チシヤのやうな葉莖をとるものは、馬糞一貫匁に對し油カス七百匁、木灰二百匁の割合が丁度よい、これらで含有の成分は窒素四匁燐酸二四・五匁、加里三二匁一分となり、花果をのぞむものには標準配合量、窒素五、燐酸四加里三で燐酸と加里量が反對になります

以上で箱畑は出來ましたら、好みの種をバラ播きにし芽が伸びたら間引きして小莖なら一列四本づつ七列はよく育ちますチシヤや小松菜等も次々と播けるので大變よい

澤山の箱をおく時には、場所がせまければ露地よりも屋根の物干台などにつくると一層效果があります、尚日が終日當りすぎ、風が強い時は簾で圍つて加減します

榮養の良否の見分け方
身長、胸圍外に 皮膚の色も必要です

榮養 狀態が良いか惡いかといふやうな話されてゐることであるが、では例へば子供のからだにしてその子の榮養のよいかわるいかといふことや、榮養價の高い食物とか少い食物とかいふことは、すでに今日では常識として一般の家庭の人々の間にもよくなことたなると、ちつともはつきりしません──いや、普通は數字的にはいかにもはつきり出して有のですが、この數字も最近は段々影がうすくなつて來てこんなものはあてにならないといふことにならうとしてゐます。これまで榮養のよしあしを知る方法としては身長(或は坐高)と胸圍の比によつてゐました──子供の學校の通信簿の體格の所につけられる榮養甲とか乙とか丙とかいふのも勿論さうした

計算 の上のものです もつとこれは一番簡單で多くの場合大體の傾向は知れるのですが、體重の輕い人やせてゐるやうな人必ずしも榮養がわるいとは云へません、反對に體重の重い肥つてゐる人必ずしも榮養が良いと定められないのです我々から見ると、非常に榮養の惡いと思ふ子供で體重の重い子がありますが、それをよく見ると一番目につくのは皮膚の色つやのわるいことです。かういふ子供に合理的な食事を與へて見ると或る程度まで

體重 が減つてさへ來るのですが、前の惡かつた皮膚の色つやはよくなり、彈力が出て目はかゞやき、性質やか朗らかになるといふことから見ても榮養狀態を單に身長や體重のみで決定することのまちがつてゐることはわかるはずです、ではどういふ事が榮養のよしあしの正しい標準になるかといふのは、これまでの身長と體の割合の外に、皮膚の色、光澤彈力、濕潤といふやうなことを加味しなくてはならないのです。

ラヂオ けふの番組
「MTGY 新京放送局」 廿九日(火曜日)

朝

六、〇〇(新京)建國體操
六、一八(大連)入港船のお知らせ
六、二〇(東京)ニュース
六、三〇(大連)中等滿洲語講座
六、五五(大連)朝の修養 尊王愛國の儒者(三) 賴山陽と篠崎小竹 秩父固太郎
七、二〇(大連)朝の音樂(レコード) 武內撝直
管絃樂 一、組曲 美しきベルトの娘 ビゼー作曲 二、歌劇 ウインゾアの陽氣な女房達序曲 ニコライ作曲
八、二五(新京)建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、〇〇(大・新)經濟市況
一〇、〇五(哈爾濱)幼兒の時間 よい子の山日(二)
一〇、二〇(大連)婦人の時間 よい子の會 服裝の簡易化 二瓶未沙子
一〇、四五(哈爾濱)家庭メモ
一〇、五〇(哈爾濱)料理獻立
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇一(新京)晝の演藝(レコード) 日本獨唱曲集
一、叱られて 二、船頭唄 永田絃次郎 三、花嫁人形 松島詩子 四、子守唄 長門美保 五、かへろかへろと 金子一雄 六、秋田おばこ 七、新子守唄 關屋敏子 八、船の船頭衆 鐵能子 關屋敏子
一〇、三〇(東・新)ニュース
一一、〇〇(大・新)經濟市況
二、一〇(大連)經濟市況
二、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東・新)ニュース
四、四〇(大連)經濟市況
五、二〇(奉天)ニュース「鮮語」
(奉天)演藝「鮮語」

夜

六、〇〇(東京)子供の時間 ラヂオ理科教室(五) 珍らしい石のいろ〳〵 指導 橋本爲次 他
六、二〇(東京)コドモの新聞
六、二五(哈爾濱)初等ロシア語講座 櫻木新吾
七、〇〇(東・新)ニュース (新京)職業紹介・告知事項・今晩の番組
七、三〇(東京)國民歌謠 大槻一等水兵 武井大助作詞 指導 澤崎定之 合唱オリオンコール 朝永研一郎作曲
七、四〇(北京)講演 伴奏東新放送管絃樂團
八、〇〇(大連)管絃樂
八、三〇(東京)時局講演
八、四〇(大連)三曲 秋の露 尺八 下川朗童 三絃 富新都 琴 岡田とめ子 同 清水ふみ
九、〇〇(東京)物語 太閤記(四) 矢田挿雲原作 德川夢聲
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解說 (新京)ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇(新京)ニュース・今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

學藝

戲曲 日出（七）

曹禺 作
六內隆雄 譯

達 （何とも言ひやうのない厭惡を見せ）あれは何ものです？

露 （吐き出すやうに）あの人此處の上流社會の出身なのよ、面白いでせう？

達 面白いつて？化物だ！僕は君がどうしてあんな連中とつき合ふのかわけがわからん、一體ありや何者です？一體どうして君とあゝ親しげにしてゐるんだ？

露 （煙草を持ち腰を卸し）あんた知りたいの？あの人此處のいちばんいゝ家の人間よ、外國に留學した人で何でも博士とか學士とかになつたんだそうだわ、西洋式の名はヂョーヂ、外國ではヂョーヂ・張と言つたの、中國では張喬治と言つてるわ、歸國してからは何度も科長をやつたんだつて、ポケットには澤山金を持つてゐるのよ。

達 （彼女の傍に寄り）しかし君はどうしてあんな人間を知つてるんだ？あんな樣らしい人間だつてことがわからんのかね？

露 （煙草の灰を落し）あんたに言つたでせう、ポケットに澤山金を持つてゐるのよ。

達 錢があれば君は……

露 （あつさりと言つてしまふ）錢があれば私とつきあへるのよ、私前にダンスホールで働いてゐた時、あの人隨分私を追ひかけたもんだわ。

達 （彼の前に立つてゐる女を知り）それぢやあの男が君にあんなことをするのも當り前だ。（俯向く）

露 あんた本當に田舍者なのね、あんまりまじめ過ぎるわ、此處にも、數日ゐたら生きるつてことはどういふことであるかゞわかるわ、あんたみんなさうなのよ、あんた氣持を小さく持つてはいけないわ。いゝわ、もういゝわ、もう誰もゐないわ、あんた話したいつてことを言つたらいゝわ。

達 （深く考へこんで醒めたやうに）僕はさつき君に何て言つたかね？

露 あんた本當に頭が惡くなつたのね。（はつきりと）あんた今氣持が何とか言つたわ！そしたらあの張喬治さんが來たんだわ。

達 （考へ込み、吐き出すやうに）さうだ、「氣持」「氣持」だ、僕は斯ういふ人間なんだ、いつも氣持の中に生きてゐるのだ。しかし竹筠、（まじめに）僕は君のそんな樣子を見て、僕の氣持はどんなだつたらう——（扉がスッと開かれる、彼は口をつぐむ）たぶん張さんが又來たんだらう。

（入つて來たのは旅館のボーイである、狡猾な顔付をし、卑屈な表情をする。）

福升 張さんぢやありません私です。（笑ひ顔で）陳小姐、おかへりなさい。

露 何か用事なの？

福 張さんには今お會ひになつたんでせう？

露 それがどうしたの？

福 私あの方にもう一つ部屋を用意してあげて休ませてあげました。

露 （不愉快さうに）あの人が其處が好きならさうしたらいゝわ、何も私に言はなくたつていゝわ。

福 はい、はい。それで張さんは大へん濟まないと仰言いました、お酒に醉つて、あなたのお部屋に入つてしまつて、あなたのベッドに吐いたんださうで——

露 まあ、私のベッドに吐いたつて？

福 はい、陳小姐、どうぞおしづかに、（露立ち上る、彼は彼女を押し止める）あなた入つてはいけません、汚いですよ。

露 あいつめ、本當に——まあいゝわ、あんた下つていゝわ。

福 はい。（又振り向き）今夜一晩あなたがお留守で、澤山のお客さまがいらつしやいましたよ。李五爺、方科長、劉四爺みないらつしやいましたよ。潘經理は三べんもあなたに會ひにいらつしやいました。それから顧八奶々からはお電話で明日、——えつと、今夜あの方の所へ遊びにいらつしやるやうにといふことでしたよ。

露 わかつたよ、お前あとで電話をかけてあの人にけふ午後遊びに來るやう言つて頂戴。

滿人・文學を語る（9）

劉戴 この外に、朝鮮の張赫宙、台灣の楊奎が注意される。

顧共鳴 張赫宙の作品は、最近のは以前ほどでないと私は思ふ。

王則 環境がさうしたのであらう。

趙憬青 これは作家自身の責任ではない、一種の情況の下では、一種の文學が生れる、同時に、どんな作家でもすべての作品が立派ではあり得ない。作風は時代とともに變轉する。

劉國藩 前には日滿文藝の現狀について話したから、今度は將來の趨勢について話さう。

趙憬青 みんなでそれを話さう。

王光烈 非常時にはいかなる文藝たるべきかについて話していたゞきたい。

王則 非常時下の文藝にはその趨勢があるべきである。

趙憬青 文藝の趨勢は屢々變轉する。

劉國藩 私は現代作家としての人材が少いと思ふ、作られる量は多い、質が落ちる。それで作家は教養を要する。

王則 編輯者に方針がなくてはならぬ。

劉國藩 編輯者も作家に材料を供給する要がある。

王則 作家は一體いかにして教養を得たらいゝのか？

陳松齡 原稿を書く友人を日本に旅行さすんだ、日本ではさういふことをやつてゐる。

趙憬青 作家が少いといふ原因は、原稿料を出して頼めないといふことにも基いてゐる。だから誰もやらうとしない。一般の新聞、雜誌は稿料が餘りに少い、中にはないのもある。例ば大同報は稿料が出る、盛京時報は稿料なしである。上海だと作家は原稿料で食て行ける新京では文字に依て生活しようとしたら餓死してしまふだらう。これは文藝の不發達といふことに大きに關係がある。しかし、作家を養成するといふことは仲々容易ではない。ゆつくり醞釀せしむる外ない。出版界は原稿料に對してはもつと澤山出す樣にすべきである。そして漸次作家を作るやうにせねばならぬ。

顧共鳴 外の雜誌と比較したら「新滿洲」の原稿料は多い方だ。

趙憬青 各種の刊行物には、すぐれた文藝も勿論ある。つまらぬものもある。文藝といふものは言語を代表するので字で句がつくられ、句で章をなし、章で篇をなす、それをつないでそこに作者の意識を加へるこれが文藝である。しかし字句の意味がわからなくてはそんなものは鑑賞も出來ない。現在の作品中には隨分讀んでわからぬ字句が出て來るをかしいと思ふ。

陳於齡 字引を使はんのだらう？

趙憬青 そんな問題ぢやない、たとへば貌小の「貌」である、それに「辶」をつけてある、これぢやわからなくなつてしまふ。あまり生硬なものをこしらへてはいかん通ぜぬ。わからぬ。——こういふ趨勢は注意を要する。たとへば立派な織物をつくる。それはどんなに新しい模樣でもその中に糸が跳つてゐては缺けたものになつてしまふ。一篇の文藝に字句の解らぬものがあつてはこれは讀者が不快になつてしまふ、文字にもつと注意する要があると思ふ。

陳松齡 字句についてはそれは一種の新しい修辭の紹介である、日本文ではよく英獨の文字を用ひる。わが國の文字にも日本の新しい修辭をよく用ひる。

爆撃機 青

精緻さと脆弱さ

竹內正一「馬家溝」（『新潮』九月號）

在滿作家のこのやうな進出は大いに喜んでいゝ。むしろ東京中心主義への追隨としてゞはない。竹內氏のこの作、相當に力をこめたものであることが知られる。支那の貧しい階層の主婦の苦難に滿ちた生活を描いて、これほど突き込んだものはまだ日本人の書いたものにはなかつたであらう。精緻な觀察のたまものと言へる。

だが、いかにも竹內氏らしい脆弱さがつきまとつてゐることは否定出來ぬ。これを氏の人情主義の現れのやうに見て讚美すること（滿日の匿名氏の評は一例）は正しい批評の見地からは排さるべきである。この脆弱さはそのまゝに作品の弱さを決定的なものとしてゐる。溺れた批評はいけない。そしていかに突き込んでゐるとはいへ、やはり全篇に日本人的な眼、日本人的なものゝ考へ方がみなぎつてゐることも指摘して置かねばならぬ。それはロシア人を描いた竹內氏についても言へたことであつた（御垣衛士）

亡き夫を想ふ

木村駒子

白蓮のかゞみの池に浮くごとく美しかりけり君のなきがら。

一日とて涙なき日ぞうつせみのぬけの己れはなすゝべ知らず。

ありし日の聲も姿もそのまゝにのこして己れに迫りくるかな

ありし日はなくてもかなと思ひしをなき今日の身のかくあらむとは。

衣笠の山のあなこの自在丘にきみがおもひと共に住ばや。

偕老の契りもむなし己が夫の歸らぬ今日の一周忌かな。

未亡人とはにくき名ぞおかしけれ殉死にまさる生のくるしみ。

尼になれ再婚せよいな事業へと生へのもだえ死へのたゞかひ

あまりにも愛せし人はあまりにも苦しめてこそ己れを殘しゝ

日にいく度君をおもひて淚するあはれ己が胸の鼓動のはげしき。

（舞踊藝術教程出版の時に）
君と共によろこばむものをひとりたゞ頁をくりて淚するかな。

くた／＼に疲れて歸るそがために湯を沸さして待ちし君はも。

哀調はその哀調は君とそれの戀故にこそはぐゝまれけり

涙なく言葉もなくてぼんやりとみまもる庭に梅雨のひたふる

偕老の契りをこめしその人はいまだ若きに己れを殘しぬ。

寢よ／＼と君の大鼾耳打てりそれを忘れてもの作る時。

ぬる夜每君が呼吸のそが胸に迫るがごとくときめくこゝろ

年月を君が添ひ寢になれし肌の寒きにむせぶ下鴨の里。

夫婦とは何をいふらむ十六夜の月のあなたのうすあかりかな

亡き君の書き殘したるかず／＼の文讀みつ見つ我泣きに泣く。

戀愛以上性慾以上と語らひし君がこゝろの今ぞ知らるゝ。

變木を好いて集めし君ゆゑに棄てもかねつゝ荷造りになやむ。

學藝消息

▵椿紗智氏 交通部文書科に勤務することゝなつた

書架 青

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▵經濟關係法令並佈告集（第六輯）（新京商工公會、七十錢）

▵滿洲觀光聯盟報（二・三合併號）（奉天鐵道總局內、滿洲觀光聯盟）

▵美術日本（九月號）日本に於ける東洋書についての消息、評論等を盛つた雜誌（東京市下谷區中淸水町五、美術日本社、一圓）

▵書香（一一六號）安西久良「百科事典考」を載す（滿鐵大連圖書館）

▵書香（一一七號）滿鐵夏季大學特輯（滿鐵大連圖書館）

▵正金週報（三三二號）「香港の澄山管制と徵共令」（書名の一部は判読不確実）その他（橫濱正金銀行）

BT5—B

五億儲蓄の長旒

五億儲蓄…この滿洲經濟建設の聖業に寄與せんとする全滿國民は不退轉の決意を示し運動開始以來その成績は着々としてあがりつゝあり、これが運動を促進するため全滿の銀行が去る廿三日一齊に一時間の營業時間延長を斷行したことは既報の通りであるが、金融機關の總元締たる滿洲中央銀行では更に「儲蓄獎勵」に拍車をかけるため廿八日から中銀表玄關に儲蓄報國「營業時間延長」などの長旒を掲げ眼を通す宣傳によつて國都市民の愛國心に呼びかけてゐる

貯蓄奬勵協議

在新京銀行團金曜會（中銀、興銀、正金、新京銀行、金融組合、東拓その他盆進、盆證、交通、中國等）では九月一日中銀クラブに總會を開催するが、主として現下の貯蓄獎勵運動を更に促進するための新具體策について協議する筈である、即ち全滿の銀行は去る廿三日より營業時間一時間延長を斷行して貯蓄奬勵運動の新展開に積極的意圖を示したが、單なる時間延長のみにては國民に對する貯蓄思想の徹底を期する上においてなほ飽足らざるものありとしこの際これが效果を全からしめるため、例へば貯蓄旬間の定期的實行およびこれが實行に當つての具體的方法等について當事者の立場より種々協議を行ふものである

警民懇談會、合理的改組へ
警察問題のみでは〃宣德達情〃不充分
首都本部で立案中

民衆の叫びを警察行政上に反映せしめ警民協力して時局に對處せんとする毎月廿五日全滿に開催の警民懇談會は回を重ねること既に八回、多大の成果を收めて來た、然し過去の會の情況から眺めて民間側から提出された議案中には警察問題のみに止まらず、各方面の問題が提出される傾向があつた、かゝる場合それ等の問題については所管外として除外して來たのである、警民懇談會の主旨から言へば所管外の問題を除外することは何等不當とするところではないが宣德達情の機構としてはそこに不充分な點があり、且つ物足らない感じを與へるところがあつた

必然この會をしてもつと合理的なものに改組してはと警民懇談會改組案はかねて各方面から叫ばれると共に關係機關に於ても、それぞれ考慮して來たが、遂に表面化して去月二十七日協和會首都本部に關係各機關集合の上、この會を〃どうするか〃について懇談の結果首都本部一任と決定解散した

爾來本部では改組案について考究中であつたが、愈よ積極的に乘出すことゝなり來る九月一日午後二時から本部會議室に於て開催する「分會實踐懇談會要領研究會」（日系側）に本問題を上程審議、成案を得て九月の懇談會から實施することゝなつた、尚具體案については目下協和會首都本部に於て立案中である

ノモンハン事件の犠牲者に弔慰扶助
―軍人後援會が對處

滿洲軍人後援會ではノモンハン事件の犠牲に對して特に次の如き弔慰、慰問、扶助を講ずることゝなり、その旨關東軍司令部に通達があつた

一、戰傷病死者に對しては關東軍から正式死亡通報があれば部隊長を通じて遺族に左の弔慰金を贈る

軍人　百五十圓
軍屬　八十圓

一、合同慰靈祭告別式には花輪、弔電、弔辭を呈す

一、戰傷病者には慰問金を左の通り贈る

將校　十圓
下士官　五圓

一、遺家族の生活扶助には滿洲國内における二ケ月分の生活費金六十圓を部隊長を通じて贈る、現地除隊の傷痍軍人には本人と家族の二ケ月分の生活費金百圓を部隊長、病院長を通じて贈る

永續的生活扶助は爾後狀況に應じ調査の上支給する

仲間を返せと分駐所を包圍
不穩苦力一味引致

順天署管下孟家屯分駐所管内下石虎滿部落では去る二十日から旱魃のため雨乞ひ祭を擧行したところ、二十四、五日と雨が降り續いたので狂喜した部落民達は二十六、七日の兩日紙芝居の興行に興じてゐたが、二十七日午後十時ごろ紙芝居を見に來た部落の一婦人を苦力五、六名が高粱畠の中に拉致し暴行に及ばんとしたので折柄附近警戒中の義勇奉公隊班長徐文學氏及び隨日部隊の中山大尉、村田軍曹が婦人の叫び聲を聞いて現場に駈け付け間一髮の際どいところで苦力を蹴飛ばし婦人を救出、李芝方に保護する一方暴漢中の池田組佐官職魏春湯（三一）を取押へ分駐所員に引き渡した

引き渡しを受けた李警長が魏を引き立てようとすると何處からともなく苦力十餘名が同警長を取り卷き棍棒手斧を揮つて魏を奪還せんとしたので李警長は拳銃の威嚇發砲によつて魏を分駐所に引致したが、二十八日午前十時半ごろ、苦力廿餘名は再び分駐所を取り卷き「魏を返せと!!」怒號

急報に接した順天署では小谷警務主任、平岡司法主任以下二十名が二台のトラツクに分乘して正午分駐所に到着蜘蛛の子を散らすやうに逃げる苦力を追つて苦力頭を引致、魏及び參考人數名を本署に連行して嚴重取調べ中である

切符賣切れ
滿航北京行き

北支未曾有の水害による京山線の不通は各方面に重大なる支障を來してゐるがこの水害により思はぬ拾物をしたのは航空會社である、就中滿航奉天北京線は二十八日夕刻既に九月十日までの搭乘切符が全部賣切れの超滿員、なほあとからあとへと申込みあり斷るに轉手古舞といふ嬉しい悲鳴をあげてゐる

夜警を縛る
鐵板泥棒捕る

四道街署管内南嶺中島組工事現場苦力賈吉（二〇）劉樹桐（二三）王才（三〇）の三名は共謀の上去る十六日午前一時二十分ごろ工事現場に置いてあつた佐々木重吉氏（三五）所有の鐵板十三枚（時價七十五圓）を竊取せんとしたが夜警劉金忠（五〇）に發見され「誰か?」ととがめられたので發覺を虞れ劉を三人掛りでねぢ伏せ附近の樹木に縛りつけ口中に古綿を押しこんだ後前記物件を强奪、市内南關大街古物商孫援玉方に二十二圓で賣却し廿六日三人打ち連れて市内親町滿人料亭吉順堂に登樓、敵娼を擧げて熟睡中を廿七日午前二時半ごろ四道街署員に一網打盡に檢擧された

飾窓を破つて…

二十八日午前三時三十分頃日本橋通一九、時計商ヅウクロウチエ（五六）さん方ウインド硝子を破壞して時計を竊取せんとする者あり、異樣な物音に飛び起き表玄關の方に大喝一聲、舖道に出てみると、大膽に吃驚一物を得ずして滿人風の男二名が驛方面に向つて逃走してゐるのを見て直ぐ樣日本橋通交番に屆け出た、同所では非常手配し深夜交番近い商舖に現れた强盜犯人を嚴探中であるが、未だ逮捕に至らない

頽廢調閉出し!
首都本部　國民歌普及乘出し

日滿國歌も完全に習得しない現狀に於て頽廢的な流行歌が巷に歌はれてゐるのに鑑み協和會首都本部では國民精神の一段の昂揚を期しかねて健全なる國民歌を提唱これが普及徹底を圖るべく積極的に働きかけることゝなり廿八日午後六時から協和會館に於て管下連絡幹事會、各會員を召集新京音樂院の指揮で日滿國歌及び國民歌の練習を實施した、尚二十九日午後六時より練習を開始、九月以降は毎月一日、十五日の二回首都本部内協和俱樂部で實施同時に映畫を上映の豫定である

僞刑事自繩自縛

ニセ刑事になり損ねた男＝二十八日午前十時頃新京驛を徘徊中の不審邦人を警護隊驛詰所員が發見、詰所に連行調べた結果、住所不定、無職新井勳（二三）と云ひ、警察官所持の捕繩と記章、手帖その他刑事に必要な物を所持してゐるので出所を追及したところ捕繩は兒玉公園前軍需品商會、記章、手帖等は吉野町一丁目二四森野商店からそれぞれ買つたと申し立て、こんなものをもつてどうすると詰問されて漸々「ニセ刑事になつて誰かを縛る積りだつた」と白狀に及んだので、怪しから不埒者と新井自ら所持の捕繩で縛されて自繩自縛、本署に送致取調べ中

俺は〃無一文會長〃
氣の狂つた大連の壽司屋御入來
只乘り只散髮　とんだ人騒がせ

廿七日午後十時頃新京驛着大連方面よりの列車乘客中に無切符で乘つて來た五十才位の異樣な風態、浴衣に下駄ばき赤襷に達筆で「無一文會」と書いたのを肩にかけた邦人男を改札口で驛員が發見、警護隊驛詰所に引渡した、詰所員取調べたところ、佐賀縣生れ岩田初一（五三）と云ひ、大連連鎖街で屋台壽司を營むうち精神に異狀を來し「甦生無一文會々長」に就任、自ら達筆を振つて日本内閣各大臣の名を連ねた「後援狀」を勝手に作成所持して八月初旬甦生無一文行脚の旅に上つた

岩田は無一文の趣旨普及?に努める傍ら會社、家庭の標札を五十錢、三十錢で書き、貰つた金の純益を國家に寄附するのだと怪氣焔を吐いてゐたが、別に惡いこともないので、係官は嚴重說諭「そんなつまらんことは止めろ」と誡め釋放したところ、岩田はその足で驛出る時職人に無一文會發行の手形?「無一文」票一枚を手渡したので眼を白黑はてさて奇怪な奴と再び詰所に突き出されたのには所員一同腹をかゝへて哄笑、再取調べの結果三笠町屋台壽司やが友達なので早速呼び出し引渡したが、とんでもない無一文會行脚も驛の失策りから遂に終止符となつた

日滿華交驩競技迫る

來る七月一日より三日間新京南嶺綜合運動場及び大同公園相撲場に於て擧行される日滿華競技大會のポスターが發行せられた【寫眞はポスター】

伊通河燈籠流し
けふ般若寺で慰靈法會

舊曆七月十五日に當る二十九日長春大街の般若寺では毎年の例に依つて死者の靈を弔ふが、今年は日滿軍警並に公務殉職者の英靈の慰靈法會を午後二時から執り行ふことになつた、なほ同五時半同寺を出て南關に到り伊通河で燈籠流しを行ふが龍を形どつた船に彌陀佛、地藏菩薩等を乘せた張り子法船は英魂を西方極樂に運ぶものとされて居り、大小の燈籠を混へ火を放つて河へ流すもので、日本の燈籠流しとは一種異つた趣があり賑ふことであらう

日本軟式庭球に滿洲軍初の覇權
殊勳の嚴、李兩選手

【東京國通】本年度全日本男子軟式庭球選手權大會第一日の廿七日は日比谷公園コートにおいて擧行、全國各地からの四十二組並びに來朝中の滿洲代表選手團も參加し光彩を添へた、第二日より決勝戰である嚴・李組（滿洲興銀）と渡瀨・永井組（兵庫）の試合は廿八日午後十時より擧行、滿洲組に即決戰法に出て來た

日本組の强襲を巧みにかわして逆にその虚を衝いて猛攻を重ね僅か十八分間で日本組をストレートで一蹴し堂々と初制覇の偉業を遂げ滿洲軟式庭球界の爲に萬丈の氣を吐いた

嚴・李（滿洲）40 永井・渡瀨（兵庫）

逆コーナーを狙つて成功

【東京國通】全日本一般男子軟式庭球選手權大會に出場初の制覇を遂げた滿洲の嚴、李兩選手は日の丸の優勝旗と總理大臣杯を手にして喜びを包みきれず次の如く語つた

渡瀨、永井組は後衞渡瀨君のフオア・ハンドが唯一の武器で打氣に出る癖をもつてゐることが判つたのでフオア・ハンドの威力を最少限に喰止めるため主として逆コーナーを狙つてエースを送る樣にしたのが成功した譯です、われわれは朝鮮全羅北道々廳にゐた、昭和四年から總督府勤務を經て十一年に渡滿するまで約八年間一緒に練習し、この間嚴は第七回及び第八回、李は、第八回明治神宮大會に朝鮮代表として參加した他伊勢神宮大會にも出場しました、渡滿以後は興銀の俱樂部に入り滿洲庭球界の先輩木津監督の指導により二人別々に技を練つてゐましたが今度再びパートナーになつて來征したのです

なほ第一回の戰績は左の如し

△一回戰
磯崎・疋田（滿）4―0 申・赤井
嚴・李（滿）4―0 山本・矢作
吉村・安藤 4―0 本間・金（滿）
岡本・荒川 4―1 金・楠村（滿）
山田・福田 4―1 稻田・堀内（滿）

△二回戰
堀越・辻野 4―2 長興・三宅（滿）
山本・三溝 4―0 磯崎・疋田（滿）
嚴・李（滿）5―3 松原・河野
野上・松田 4―0 向井・野崎（滿）

△三回戰
嚴・李（滿）4―1 島尾・大上

△準々決勝
嚴・李（滿）4―2 曹・李

△準決勝
嚴・李（滿）5―3 小林・露木

東大ラグビー選手團來滿

滿洲體育聯盟の招聘により總監督清瀨三郎氏に引率された東大ラグビー選手團廿九名は廿八日早朝入港の熱河丸で來滿した、廿九日大連運動場でオール大連軍と一戰を交へ、卅日新京へ向ふが、新京、哈爾濱、奉天、京城等で試合をなし朝鮮經由來月中旬歸國の豫定

二十六日東京羽田飛行場を離陸一路六萬キロ翔破の壯途に上つた「ニッポン」號は同日午後一時四十五分札幌着▼一時間餘機翼を休めたのち最も難關と目された第二行程アラスカノームへの飛行に飛び立ち夜間盲目飛行をつゞけ十五時間五十五分の快記錄をもつて四千キロの魔の難關を見事翔破して〃ニッポン〃の聲價を彌が上に高揚した▼このニッポンの機長中尾純利氏は滿航出身だけに滿航關係者の慶びはまた大したものだ▼出發以來毎日世界地圖を按じ或はその成功を神かけて祈つてゐただけにノーム着の快報には一同踊り上つて喜んだのも無理はない

李文龍少將令息逝去

【東京國通】駐日滿洲國大使館附武官陸軍少將李文龍氏の令息陸軍步兵中尉李宋周氏（二二）は風邪にて第三陸軍病院に入院中であつたが、腦膜炎を併發廿七日午後四時三十分逝去した、告別式は追つて決定

ビユーロー主任更迭

ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー新京案内所主任石畑一登氏は今回濟南案内所主任に轉任、二十八日新主任本村隆雄氏と同道更任挨拶に來社した、石畑氏は三十日〃はと〃で赴任

蔡外務局長官北支視察へ

滿洲國蔡外務局長官は二十八日午後九時四十分發列車で大連經由北支諸情勢の觀察に向つた

僞警官二名
一齊檢索に掛る

首都警察廳では二十八日午後八時を期して管下各警察署に指令し、一齊に疾風迅雷的檢索の手を伸ばした結果、時間の早いのと地のりの關係上順天、和順、寬城子、長通路署ともに靜穩であつたが、中央通署管内の盛り場は時ならぬ檢索に大恐慌を來し早くも大虎は小虎に、小虎はゐずまいを直す等の有樣に檢索班の微苦笑を禁じ得なかつたが、大和通歡樂地一帶檢索班の手に最近流行の僞警察官二名があげられ、當夜の大獲物であつた

▽その一＝午後八時半ごろ東三條通廿二飲食店輔原國方で飲酒中の不審男を取調べた所、右は新京交通會社修理工杜芳洲（二二）といひ同人は警察官の刀帶、ズボンを着し捕繩を所持して警察官の名を騙つて惡事を働いてゐたもの、如く本署に檢束した

▽その二＝同九時頃吉野町四丁目滿人料理店榮英堂方で遊興中の滿人を取調べの結果、これは自稱總務廳守衛室勤務、西四馬路門牌七七號于景浩（二九）で警察手帖を所持してをり、これも警察官の名を騙つたもの、如く本署に檢束された、何れも嚴重取調べ中

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

（百三十）

鬼胎地獄（伸子の手記）

（これで、よい）

メラ〳〵と、紙の燃える火が灰皿の中で揺いでゐる。

十八郎が、湖南省の八仙寨で淫賣のヘツダ、それから、日本女醫の吹江頼江、しかも藏子岐を走らせ死に到らしめその財寶を、掠めた黒手の影は消えた。

（高く、ついた、しかし、余人の手に渡るのを考へたら、値ではないかも知れぬ）

やうやく、悪夢のなかゝら抜け出たやうな十八郎は、落着くと、金が惜しまれるよりもホツとしたやうな氣がした

湮滅……。

すべて、彼の舊悪を證據立てるものが、いま一塊の灰となつてゐるのだ。

（危なかつた）

彼はいま悪運の榮えを、勝手た奈落地天の神々に感謝してゐるのだ。

そこへ、呼鈴に應じて卓上のものを、下げに女中の伸子が入つて來た。

『顔色が悪いね、伸や』

『ハア』

『具合が悪けりや、休んだがいゝ』

十八郎は紫煙のなかで、蒼白な伸子の顔を貪るやうに、眺めてゐる。

乳のふくらみ

腰の線

爪も、唇も色がなく、耳だけが眞赤である。

『お掛け、』

傍らの、椅子を指してやさしく云ふのを、一瞬、なぜか伸子の面上をはげしい嫌悪の色がはしる。

『構はんよ。具合の悪いときは、目上もなにもない、どうしたね。』

『ハア』

と、伸子が掛けやうとしないのを、

『サア、世話を燒かせるんぢやない。』

手首をとつて、無理無理十八郎は、腰を下させてしまつた。

さつきの、緊張と激奮の弛んだあと、口は水分を欲し、眼はなにか物云ひたげであつた。

『どうだな、けふ實は相談があるんだが、今月から、國府津の別莊の留守居に往つてくれんだらうか。』

『……』

『樂だし、第一、からだも癒る。過勞は、お前のやうな體質には、いちばん、禁物だでな。以前、お母さんから聽いたことなんだだが、伸やは、腺病質で育ち難かつたさうだね。』

『……』

『行くさ。奥さんのほうは、なんとか話をするし、預かつた以上、わしにも責任と云ふものがある。』

『でも』

伸子は、やつと出るやうな聲で、

『私、でも、何ともありませんのですから……』

『隠すでない、お前と、儂の仲だで、遠慮はいらん。あす行くか？』

『でも、』

伸子は、いま、胸のなかに旋じのやうなものを感じてゐる。

嫌悪？

憎悪？

忌怖？

しかも何より濃いのは、われとわが顔を鏡に向けられぬやうな、悲哀、屈辱の色である。

別莊へ行く……。

それは、いつもの十八郎の常套手段で、これまで何人の女中のなかでその陥穽に落ちたことか……。

そこへ、十八郎の撫でるやうな聲がした。

『オイ、火を點けてくれぬか。』

まるで、伸子の接近を待つやうに、葉巻を唇で動かしてみる。